

DNP

大日本印刷株式会社

DNP グループ IR-Day 2024

2024 年 7 月 11 日

イベント概要

[企業名]	大日本印刷株式会社		
[企業 ID]	7912		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	投資家カンファレンス		
[イベント名]	DNP グループ IR-Day 2024		
[決算期]			
[日程]	2024 年 7 月 11 日		
[ページ数]	67		
[時間]	13:00 – 14:29 (合計 : 89 分、登壇 : 89 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]			
[出席人数]	100 名		
[登壇者]	8 名		
	代表取締役 社長	北島 義斉	(以下、北島)
	専務執行役員	土屋 充	(以下、土屋)
	専務執行役員 メディカルヘルスケア本部	杉本 登志樹	(以下、杉本)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



常務執行役員 コンテンツ・XRコミュニケーション本部 浅羽 信行 (以下、浅羽)

常務執行役員 高機能マテリアル事業部 飯田 満 (以下、飯田)

執行役員 ファインデバイス事業部 中西 稔 (以下、中西)

執行役員 オプトエレクトロニクス事業部 富澤 伸行 (以下、富澤)

IR・広報本部長 若林 尚樹 (以下、若林)

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



登壇

若林：定刻となりましたので、DNP グループ、IR-Day を開始いたします。本日の司会は私、IR・広報本部の若林が務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は大変お忙しい中、DNP グループの IR-Day にご参加いただき、誠にありがとうございます。本日は、説明会資料に沿ってご説明いたします。説明会資料は DNP の Web サイトに日本語版、英語版ともに掲載されております。

DNPグループ IR-Day 2024



(1) 持続的な企業価値向上に向けて	代表取締役社長	北島 義斉
(2) セグメント戦略	専務執行役員	土屋 充
(3) 成長牽引事業		
光学フィルム メタルマスク	執行役員	富澤 伸行
フォトマスク ガラスコア	執行役員	中西 稔
バッテリーパウチ	常務執行役員	飯田 満
(4) 新規事業		
メディカル・ヘルスケア関連	専務執行役員	杉本 登志樹
コンテンツ・XRコミュニケーション関連	常務執行役員	浅羽 信行

本日の登壇者は、代表取締役社長の北島、および本スライドに記載の各担当役員、計7名です。

本日の進行ですが、7名の登壇者のご説明を13時から14時30分頃まで行い、その後10分間の休憩を挟み、14時40分から50分間、質疑応答の時間を設けています。終了時刻は15時30分を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

DNP グループの IR-Day 開催は、今回が初めてとなります。説明資料、時間配分、その他ご意見を終了後のアンケートにぜひお寄せいただき、また今後の改善に活かせればと思っております。

それでは、ご説明に移らせていただきます。はじめに「持続的な企業価値向上」について、代表取締役社長の北島よりご説明いたします。それでは北島社長、よろしくお願いいたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

ブランドステートメント **未来のあたりまえをつくる。**

DNPグループは、サステナブルな社会の実現を目指し、企業理念に「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する。」ことを掲げています。この理念に基づき、持続可能なより良い社会とより心豊かな暮らしを実現するために、長期を見据えて、自らがより良い未来をつくり出すための事業活動を展開しています。

このような取り組みを通じて、持続的な事業価値・株主価値の創出を行い、

**DNPグループはROE10%を目標に掲げ、
PBR1.0倍超の早期実現を目指します。**

事業戦略

- 社会課題の解決とメガトレンドに通じる注力事業・新規事業への集中投資と事業構造改革を推進し、事業活動による更なる利益の創出を目指す。
- 事業環境の変化におけるリスクを、コア技術の進化・深耕によって成長機会に転換する。

財務戦略

- 成長投資の原資は、事業活動により生み出すキャッシュ・フローに加え、保有資産の縮減加速を含む資金効率の最大化により創出する。
- 資本効率の改善に向け、過去最大の自己株式取得を計画する。
- 持続的な企業活動のために、財務の安定性を維持しながら、EPS等を意識した株主還元の一層の強化を図る。

非財務戦略

- 人的資本ポリシーに基づき人への投資を拡大する。
- DNP独自の強みと外部連携を活かして知的資本を強化する。
- 「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」実現に貢献する。

1

北島：皆さん、こんにちは。社長の北島です。本日はDNPグループのIR-Dayにご参加いただきまして、ありがとうございます。

DNPグループは「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する。」ことを企業理念に掲げ、持続可能なより良い社会、より心豊かな暮らしの実現に努めています。そして社会課題を解決するとともに、人々の期待に応える新しい価値を創出し、その価値を人々の身近に常に存在する「あたりまえ」のものにしていくという私たちの志を、「未来のあたりまえをつくる。」というブランドステートメントに込めています。

私たちは、東京証券取引所が2023年3月に要請を行った「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に先立って、その年の2月に「DNPグループの経営の基本方針」を公表するとともに、ROE10%の達成とPBR1.0倍超の早期実現を目指すというメッセージを、ステークホルダーの皆様が発信しました。

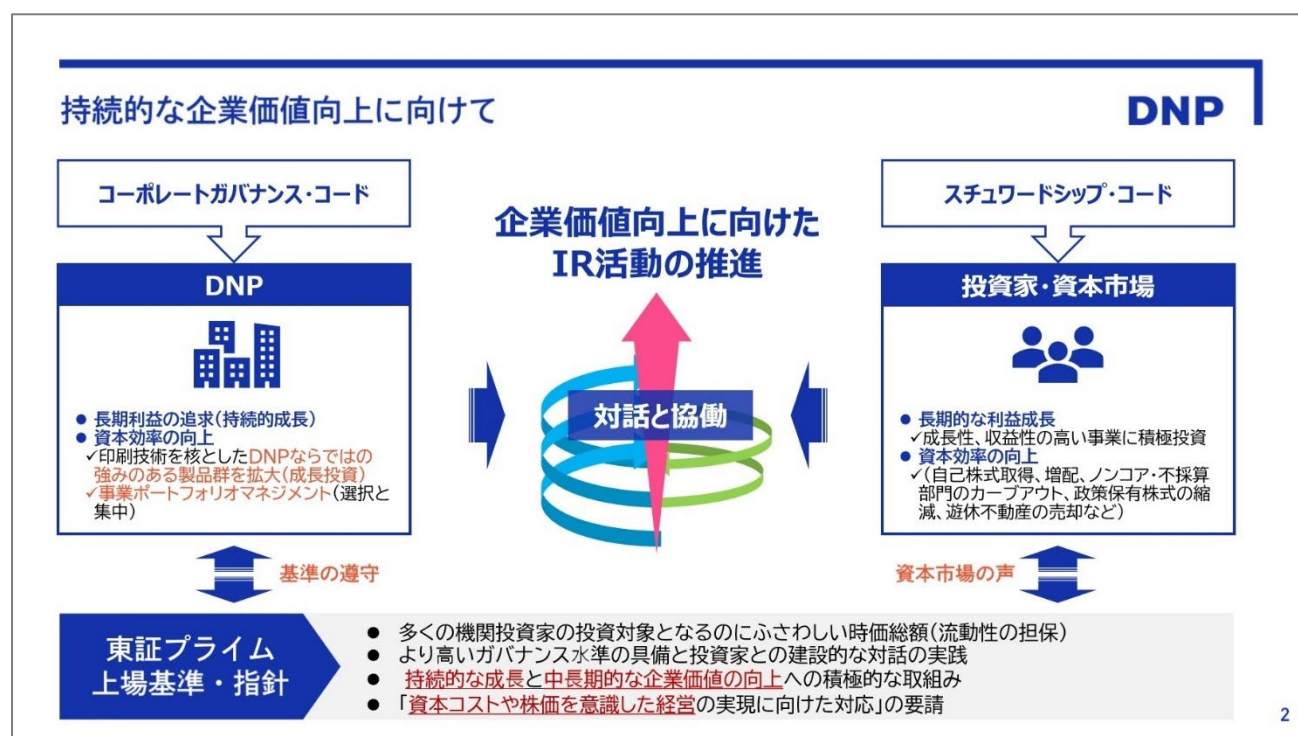
それに続いて、3月には新中期経営計画の骨子、5月には新しい3か年の中期経営計画と、三つのステップに分けて公表し、その間に投資家の皆様からいただいたご意見なども参考にして、具体的な変革の施策を明確にし、実行してきました。その後の当社の株価の上昇率はTOPIXを上回っており、PBRは1.0倍前後の水準で推移するようになりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

また当社の取り組みを各メディアに取り上げていただく機会も増えるなど、幅広いステークホルダーの関心、期待が高まっていると実感しておりますが、さらに DNP の中長期的な成長についてご理解を深めていただけるように、本日 IR-Day を開催することにいたしました。

このページは昨年 2 月に公表した「経営の基本方針」です。この中でお示しした三つの戦略について、これまで決算説明会では決算内容と主に財務戦略の進捗などをご説明し、サステナビリティ説明会では非財務戦略の取り組みについて、ご理解を深めていただけるように努めてきておりますが、それらに加えて本日の IR-Day では、事業ポートフォリオの変革と成長牽引事業、新規事業にフォーカスした事業戦略についてご説明いたします。



2 ページをご覧ください。

DNP は、コーポレートガバナンス・コードについて、スチュワードシップ・コードあるいは東京証券取引所からの要請などに対応しつつ、持続的に企業価値を向上させていくため、投資家の皆様との「対話と協働」が必要不可欠だと考えております。

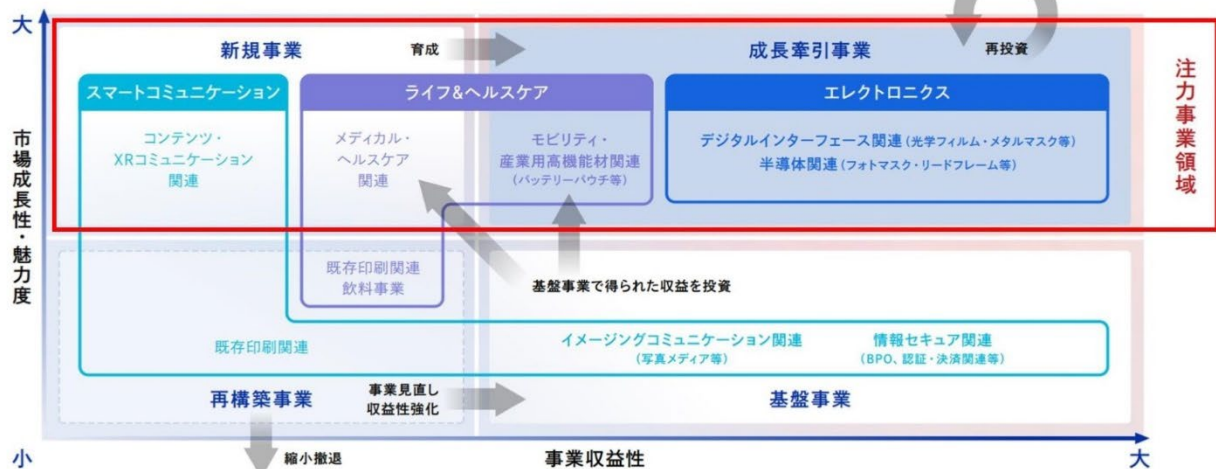
今後もこのような機会を定期的で開催し、情報開示の質と量高めるとともに、対話を深めて、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組みに努めてまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

事業ポートフォリオと各セグメントの位置づけ

DNP



**成長牽引事業・新規事業からなる注力事業領域への集中投資と事業構造改革を推進し、
事業環境の変化に対して強い事業ポートフォリオの構築を目指す**

3

3 ページをご覧ください。

DNP グループは、今回の中期経営計画で事業ポートフォリオを 4 象限に当てはめて、各セグメントの位置づけを明確にお示ししました。

中長期の目標達成に向けて、注力事業領域である新規事業、成長牽引事業はもちろん、基盤事業、再構築事業も含めた全ての領域で経営資源を最適に配分し、さらに強靱な事業ポートフォリオを構築して、収益性や資本効率を向上させていきます。

一方、世界的な気候変動や、地政学リスクの影響、各国・地域の選挙や金融政策などによる景気の変動に加え、原材料、エネルギー、物流関連のコスト上昇などが懸念されます。また AI をはじめとする技術の急激な進歩など、私たちが想像する以上の環境・社会・経済の変化が起こる可能性もあると思っています。

DNP は、さまざまなリスク = 変動要因に対して、柔軟かつ機動的に対応するだけでなく、変化を先取りして自らが変革を起こすことで、ビジネスチャンスに変えていく体制を構築しています。

それではこの後、環境・社会・経済の変化を踏まえた事業戦略の全体像である事業ポートフォリオの変革と、それを構成する三つのセグメントについて、事業推進を担当している専務執行役員の土屋から、また DNP が注力事業領域と位置づけている成長牽引事業および新規事業について、各事業を担当している役員よりご説明いたしますので、どうぞよろしくお願いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

若林：続きまして、セグメント戦略について、専務執行役員の土屋よりご説明いたします。土屋専務、よろしくお願いいたします。



土屋：事業推進担当の専務執行役員、土屋充でございます。

はじめに、現中期経営計画の進捗状況について、あらためてご説明いたします。

初年度であります2023年度は、デジタルインターフェース関連などの成長牽引事業が好調に推移したことに加えまして、バッテリーパウチや情報セキュア関連も堅調に推移するとともに、原材料価格高騰の価格転嫁も貢献し、計画していた営業利益670億円を12.6%上回る754億円となりました。

2024年度につきましても23年度に続き、成長牽引事業が堅調に推移する見通しであるほか、再構築事業の収益体質改善なども貢献いたしまして、計画として掲げた営業利益750億円を6.7%上回る800億円の営業利益を予想しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

中期経営計画【注力事業領域等への投資状況】

DNP

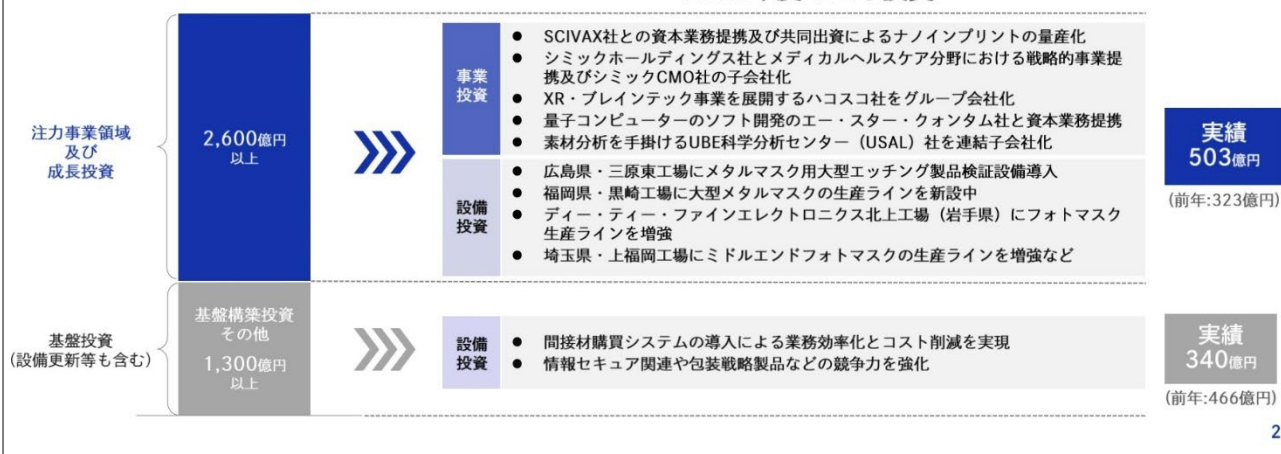
成長投資・基盤構築投資

3,900億円以上 (2023~27年度の5年間)

注力事業領域を中心とした設備投資、グローバル拡大、外部とのアライアンスの検討を推進する。

2023~27年度

2023年度の主な投資



2

続きまして、中期経営計画の事業戦略の一つとして掲げました「注力事業領域への集中投資」の進捗でございます。

投資総額としましては、5年間で3,900億円以上、うち2,600億円以上を注力事業領域等へ振り向ける計画に対して、2023年度の注力事業領域等への投資は503億円となりました。また、基盤事業にも340億円を投資しております。

特に市場成長が見込まれるエレクトロニクス部門につきましては、メタルマスクやフォトマスク関連の設備投資を積極的に行っており、これらについては今年度、あるいは来年度以降の業績に貢献してくるものと考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

経営資源の再配置（2020～2023年度）

既存印刷関連からリスキングを実施の上、主に成長分野への再配置

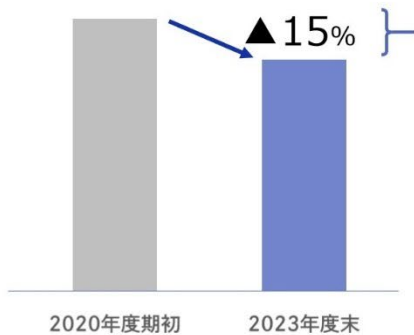


続きまして、もう一つの事業戦略である「構造改革」についてです。

構造改革は、前中期経営計画期間から継続して実施しております。2020年度以降、リスキング等によりまして1,000人を超える人財を再構築事業領域から、主に成長分野に再配置しています。

製造拠点再編により収益改善に注力

拠点再編や工場の閉鎖・売却を行い既存印刷関連の構造改革を推進



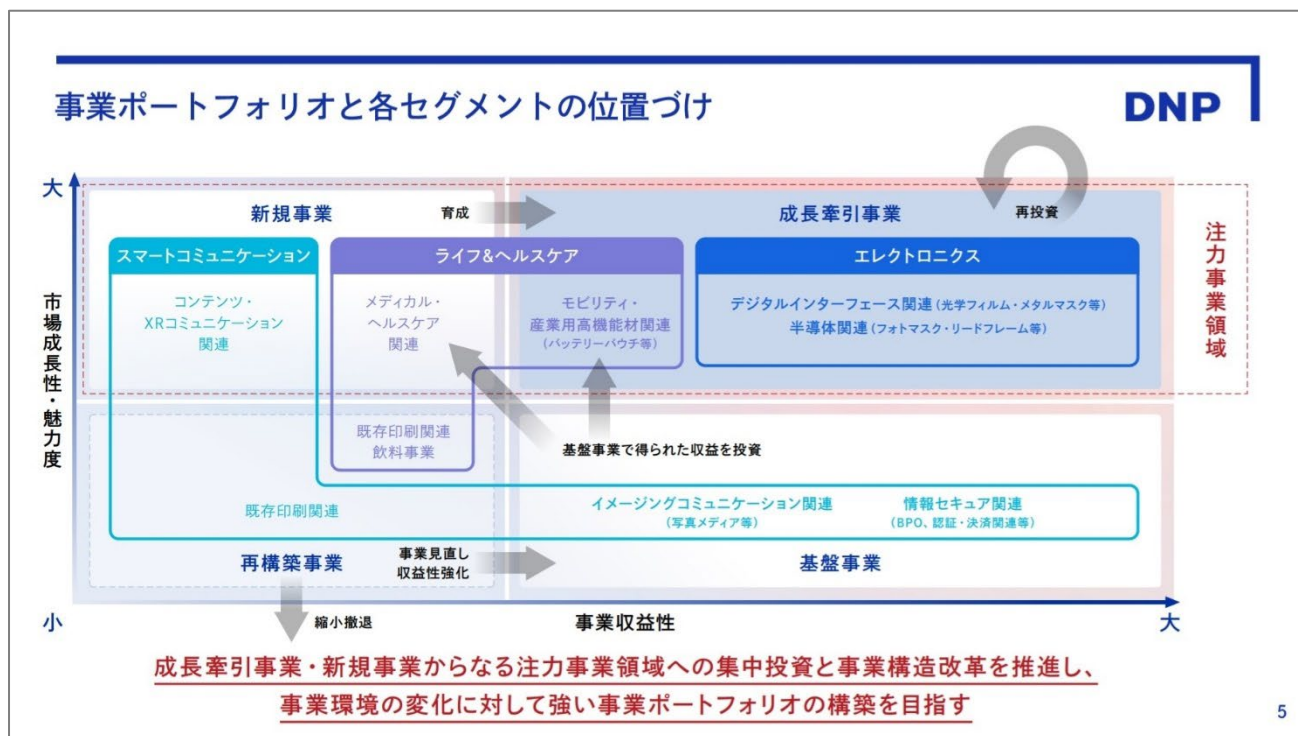
製造拠点については、4年間で約15%の圧縮

その資産売却により200億円超のキャッシュを創出

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

また製造拠点につきましても、同期間内で約15%を圧縮して、その資産売却により200億円超のキャッシュを創出いたしました。この資金を成長投資、あるいは自己株式の取得の原資として活用することで、資本効率の改善を引き続き進めてまいります。



ここから、各セグメントの概況をご説明いたします。

当社の事業セグメントは、スマートコミュニケーション、ライフ&ヘルスケア、エレクトロニクスの三つに分かれておりまして、市場成長性と収益性で4象限に分けた図に落とし込むと、このような位置づけになります。

濃淡はあるものの、各セグメントの中の事業が全て同じポジションに位置するのではなくて、それぞれのセグメントの中でも注力事業、基盤事業、再構築事業を有しております。中期経営計画の事業戦略で掲げている「注力事業領域等への集中投資」あるいは「事業構造改革」を、それぞれの事業が置かれている状況において適切に実行することで、強いポートフォリオを構築していく方針でございます。

サポート

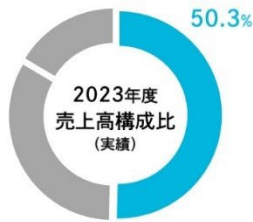
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



【スマートコミュニケーション部門】①事業内容



DNP



2023年度実績

売上高： 7,194億円
営業利益： 261億円
営業利益率： 3.6%

() 内は売上高

イメージングコミュニケーション関連 (約1,050億円)



情報セキュア関連 (約2,080億円)



マーケティング関連 (約1,300億円)



出版関連 (約2,550億円)



新規事業/その他 (約220億円)



6

それでは、まずスマートコミュニケーション部門からご説明いたします。

当セグメントには、写真プリント用の昇華型熱転写記録材やフォトプリンター、証明写真機などを手がけている「イメージングコミュニケーション関連」、BPO サービスや IC カードを提供する「情報セキュア関連」、あるいは新規事業として注力する「コンテンツ・XR コミュニケーション関連」などが含まれます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



【スマートコミュニケーション部門】②市場環境



主な事業		市場トレンド	市場の見通し※1 (CAGR)
イメージングコミュニケーション関連	写真プリント用昇華型熱転写記録材	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ影響により20年度に需要減少も、21年度以降回復 ・銀塩方式からの切替により写真プリント用昇華型熱転写記録材含むドライ方式は増加 	+4% (22~27年)
情報セキュア関連	BPO	<ul style="list-style-type: none"> ・労働力や人材不足による働き方改革やDX推進を背景に、市場拡大が見込まれる ・人による業務とデジタル技術を組み合わせたサービスの必要性が増加 	+3% (24~27年)
	ICカード	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコード決済の浸透などによりキャッシュレス決済比率は35%以上まで伸長も、カード決済が80%超を占めており、キャッシュレス化の中心的存在となっている 	+1% (22~26年)
マーケティング関連	-	<ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体の市場規模は1.7兆円と依然として大きいものの、デジタル化の進行により緩やかな縮小トレンドが続く。デジタルマーケティング市場は引き続き拡大 	紙媒体: ▲1.5% (23年対22年)
出版関連	雑誌・書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・雑誌、書籍とも紙媒体においては市場縮小が続く見通し ・ネット書店および電子書籍市場は成長 	紙媒体: ▲5% (23~28年)
新規事業	コンテンツ・XRコミュニケーション関連	<ul style="list-style-type: none"> ・日本由来のマンガ・アニメ・ゲームの海外需要が拡大するほか、商品・サービスなどのコンテンツ展開市場が活況 ・XRの非日常領域での需要に加え、教育・トレーニングなど各業態への利活用が増加 	拡大基調

※1 市場の見通しは各種調査をもとにした当社予測

7

各事業が置かれている市場環境をまとめたものが、こちらのページです。

基盤事業として位置づけている「イメージングコミュニケーション関連」や「情報セキュア関連」は安定した市場環境が続く見通しです。「コンテンツ・XRコミュニケーション関連」も今後、市場の拡大および活性化が予想されております。

【スマートコミュニケーション部門】③セグメント戦略



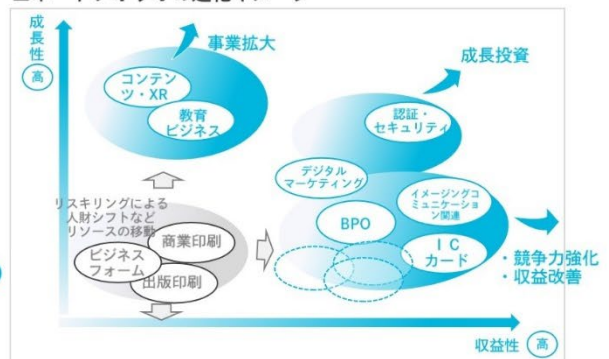
■主な事業の戦略

主な事業セグメント	戦略
イメージングコミュニケーション関連	写真プリント用昇華型熱転写記録材 地域特性に即した用途の開発と拡販により世界シェア70%以上を目指す
	IDカード用インクリボン 新興国の国民ID証需要を取り込み、IDカード用昇華リボンの世界シェア70%を目指す
情報セキュア関連	BPO 一部業務のアウトソーシングから、デジタル化を伴う業務改革や変革支援まで領域を拡大
	ICカード 環境配慮製品など高付加価値製品を拡充し、競争力を強化することで国内トップシェアを維持
新規事業	コンテンツ加工・変換技術を活用しIPのコンテンツ展開を国内外で加速。地域、企業の課題解決に応じたXRコミュニケーション®の共通サービスを開発・実装

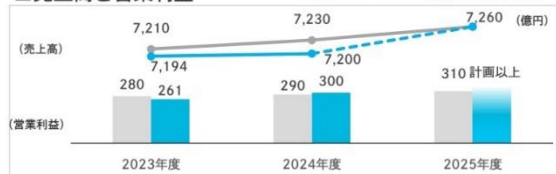
✓世界シェアNo.1の昇華型熱転写記録材の新興国等への展開や、国内シェアNo.1のICカードの競争力強化と収益改善を中心に利益の底上げを図る

✓紙媒体の印刷物は市場縮小が予想されるため、リスクリングによる成長事業、基盤事業への人財シフトや製造拠点の再編など資産の適正化を実施

■ポートフォリオの進化イメージ



■売上高と営業利益



8

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



12

こうした市場環境の中、世界シェアナンバーワンの写真プリント用昇華型熱転写記録材は、新興国等で今後の需要の拡大が期待されますので、地域特性に即した用途の開発と拡販によって、さらなるシェアの拡大を目指してまいります。

また、国内シェアナンバーワンのICカードは、環境配慮製品など高付加価値製品の拡充によって、さらなる競争力の強化を進めていきます。

出版印刷、あるいは商業印刷、ビジネスフォームといった紙媒体の印刷物は、今後も市場縮小が予想されるため、リスクリングによる成長事業や基盤事業への人財シフト、あるいは製造拠点の再編など、資産の適正化を引き続き進めてまいります。



続きまして、ライフ&ヘルスケア部門です。

このセグメントは、バッテリーパウチ、太陽電池関連、加飾フィルム等を含む「モビリティ・産業用高機能材関連」、製薬事業、医療・医薬用包材等が含まれる「メディカル・ヘルスケア関連」、無菌充填システムや機能性包材等を扱う「包装関連」、住宅やオフィスの内装材・外装材等を扱う「生活空間関連」、「飲料事業」という構成となっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



【ライフ & ヘルスケア部門】②市場環境



DNP

主な事業セグメント		市場トレンド		市場の見通し※1 (CAGR)
モビリティ・産業用高機能材関連	バッテリーパウチ	▲	・中長期で自動車の電動化がすすむトレンドは変わらず、今後の自動車メーカーの電池製造内製化（パウチタイプ）に伴い米国中心に需要増加を見込む	電動車：+13%※2 (23~30年)
	太陽電池関連	▲	・グローバルの太陽光発電システム市場は2020年から2030年にかけて2.5倍に伸長 ・米国、EU、中国で政策的取り組みなども背景に需要が拡大	世界発電システム市場：+10% (20~30年)
	自動車用加飾フィルム	▲	・内外装とも高意匠品が伸長するなか、特に塗装代替用途の外装フィルム拡大に期待	拡大基調
メディカル・ヘルスケア関連	-	▲	・医薬品世界市場規模は2018年：141兆円から2030年：196兆円まで拡大すると予想されるなど、安定的な成長が期待	医薬品世界市場 +2.8% (18~30年)
包装関連	-	▲	・軟包装の世界市場は伸長しており（2023年：約40兆円）、今後アジア市場/環境配慮製品の伸びが見込まれる	軟包装世界市場：+4.7% (24~30年)
生活空間関連	-	→	・国内住宅着工件数は減少傾向が続く見通し ・海外は足元では需要低迷も、中長期では人口増加に伴い成長が持続	国内：▲1% (24~28年) 海外：+3% (23-29年)
飲料事業	-	→	・コロナ禍を経て全体の景況は回復し、インバウンドも含め需要は堅調に推移	+1~2% (24~26年)

※1 市場の見通しは各種調査をもとにした当社予測
※2 EV/PHEV/HEVの合計

10

こちらが各事業それぞれの市場トレンド、市場の成長性をまとめたものです。

まずバッテリーパウチの市場ですが、足元ではEV需要の足踏みが見られるものの、プラグインハイブリッドを含め、長期的に各種EV化が進む流れは変わらないと見ておりまして、着実な成長が見込めると考えております。

同じく、「モビリティ・産業用高機能材関連」に含まれる太陽電池関連の市場も、全世界で成長が続くと見込まれているほか、自動車用の加飾フィルムは内装用途だけではなくて、塗装の代替としての外装用途で伸びが期待できると考えております。

新規事業である「メディカル・ヘルスケア関連」につきましては、医薬品の世界市場の堅調な伸びが見込まれておりまして、当社としても注力してまいります。

「包装」「生活空間関連」「飲料」につきましては、国内市場はそれほど大きな伸びは見込めないものの、特に「包装」「生活空間関連」については、海外を中心に一定の成長余地があると捉えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



【ライフ＆ヘルスケア部門】③セグメント戦略

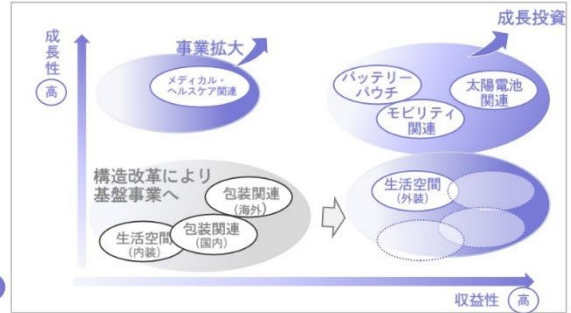
DNP

■主な事業の戦略

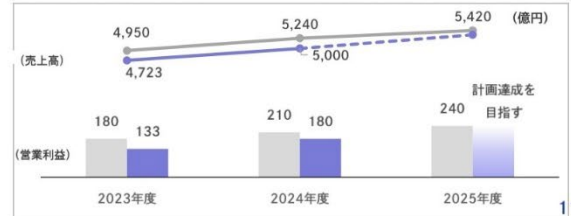
主な事業セグメント	戦略	
モビリティ・産業用高機能材関連	バッテリーパウチ	車載向けは足元の市況軟化も、中長期の成長トレンドに追随するために必要な投資を継続
	太陽電池関連	高信頼性、高品質を武器とし、米国、欧州の需要増加に対応するための新規設備導入を検討
	モビリティ関連	コアとなる技術のかけ合わせにより、外装用途など差別化商品をグローバルに展開
包装関連	国内	安価材料への切替や納入効率の改善によるコスト削減、原材料等の高騰影響の価格転嫁促進
	海外	モノマテリアルや無菌充填システムについて海外顧客への展開を加速
生活空間関連	内装材	業務効率化や製造拠点最適化を進めるとともに、海外を含めて顧客および協業先を開拓
	外装材	インフラや外壁向けへ展開するほか、パートナー戦略でアジア・中国・欧州へ販売エリアを拡大
新規事業	メディカル・ヘルスケア関連	水平分業の業界において、DNPのバリューチェーンを拡げ、原薬/製剤/パッケージでの成長を継続

- ✓成長牽引事業のモビリティ・産業用高機能材関連は市場成長に合わせた事業投資、M&Aの両面を検討
- ✓包装関連、生活空間関連は強みを持つ製品の海外展開を加速

■ポートフォリオの進化イメージ



■売上高と営業利益



これらの市場動向を踏まえた各事業の戦略が表の左手になります。

バッテリーパウチにおいては、市場の伸びに追随すべく、必要な投資を継続して実施してまいります。太陽電池関連につきましても、欧米の需要の伸びに遅れをとることのないよう、新設備導入などの成長投資を実施するほか、モビリティにおきましても、DNPのコアとなる技術を活かした差別化製品のグローバル展開を加速してまいります。

「包装」「生活空間関連」につきましては、国内の効率化を進めるとともに、グローバルを中心にそれぞれの市場の需要を捉えて、ビジネスの最大化に資する製品を提供してまいります。

新規事業である「メディカル・ヘルスケア関連」におきましては、産業のバリューチェーンの中でDNPが価値を提供できる領域を拡大してまいります。

これらの戦略を着実に実行することで、右上の図にあるとおり、ポートフォリオを進化させていくことができると考えております。

結果といたしまして、右下のグラフのとおり、バッテリーパウチの足元の市場停滞などを反映させたことで、2024年度は中期経営計画をやや下回るものの、売上、営業利益ともに着実に成長することができると考えております。

サポート

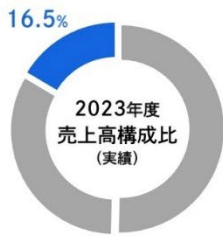
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
 Asia's Meetings, Globally

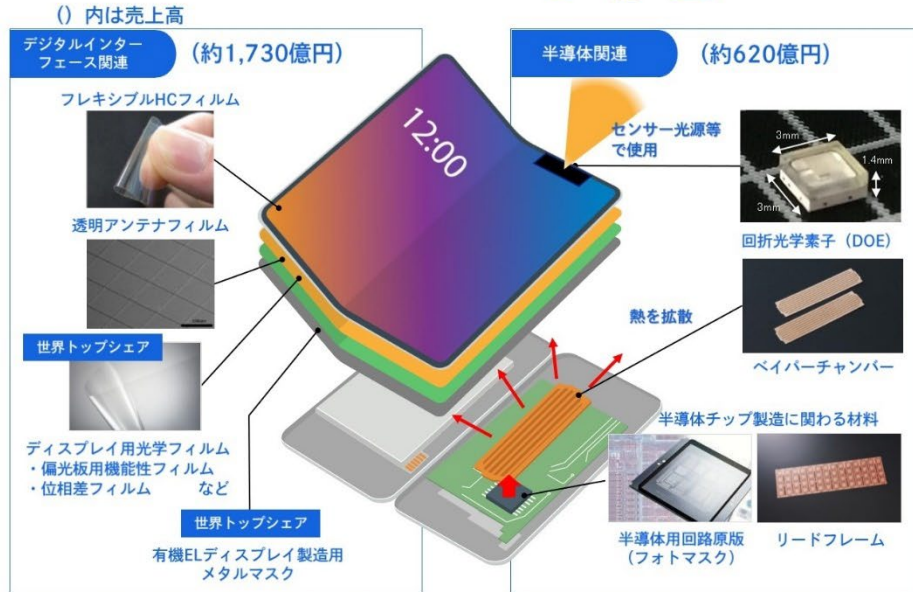
【エレクトロニクス部門】①事業内容



DNP



2023年度実績
 売上高： 2,353億円
 営業利益： 581億円
 営業利益率： 24.7%



12

続きまして、エレクトロニクス部門です。

当部門は、世界トップシェアを誇る有機ELディスプレイ用製造用メタルマスク、およびディスプレイ用光学フィルム等の「デジタルインターフェース関連」と、フォトマスクやリードフレーム等の「半導体関連」の事業で構成されております。

【エレクトロニクス部門】②市場環境とセグメント戦略



DNP

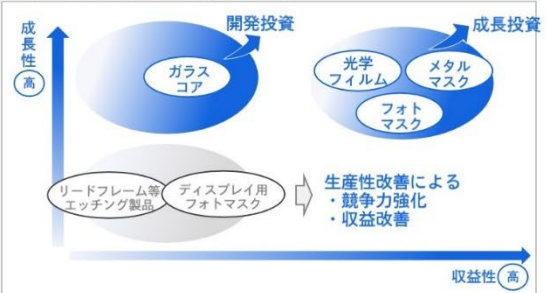
■市場環境と戦略

主な事業セグメント		市場トレンド	市場の見通し※1 (CAGR)
デジタルインターフェース関連	光学フィルム	主にテレビ向けパネルサイズの大型化に伴う出荷面積の拡大もあり、需要は堅調に推移	+3.2% (23~30年)
	有機ELディスプレイ製造用メタルマスク	スマートフォンでの有機ELディスプレイ採用拡大に伴い、引き続き需要は堅調に推移	スマホ:+6% タブレット/ノートPC:+40% (23~30年)
半導体関連	フォトマスク	製品開発需要に加え、生成AI向けロジック、メモリー用途の半導体市場の需要増加に伴い、中長期的に大きく市場が成長する見込み	外販市場 +8.1% (20~27年)
	リードフレーム	車載、通信、民生品用途の需要回復が遅れているものの、中長期的には市場成長する見込み	+6.9% (22~29年)

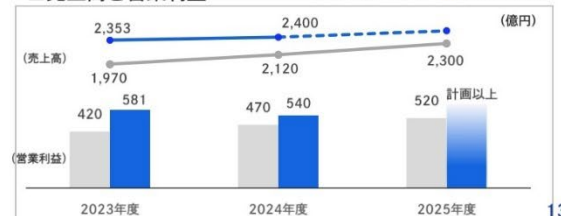
※1 市場の見通しは各種調査をもとにした当社予測

社会的ニーズが高く、DNPのシェアの高い事業に集中投資し、市場成長率を上回る持続的な事業拡大を目指す

■ポートフォリオの進化イメージ



■売上高と営業利益



13

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



次に、各事業の市場トレンド、市場の成長性をご説明いたします。

光学フィルムは、主にテレビ向けパネルサイズの大型化にともなう出荷面積の拡大傾向が続き、長期的な市場 CAGR（年平均成長率）が約 3.2%で成長する見通しで、需要は堅調に推移いたしております。

有機 EL ディスプレイ製造用メタルマスクは、スマートフォンでの採用拡大に加えて、今後、タブレット端末やノート PC での採用の拡大、広がりが見込まれておりまして、特にタブレット端末とノート PC における 2023 年～2030 年の市場の CAGR は約 40%と予想しております。

フォトマスクは顧客企業の製品開発需要のほか、生成 AI 向けロジック、メモリー用途の半導体市場の需要増加にともない、外販市場は 2020 年～2027 年の市場 CAGR が約 8%と予想されております。中長期的に大きく市場が成長する見込みです。

リードフレームは車載・通信・民生品用途の需要回復が遅れているものの、中長期的には、2022 年～2029 年の市場 CAGR が約 7%成長する見込みです。

右上の図のポートフォリオの進化イメージのとおり、メタルマスクや光学フィルム、フォトマスクを中心に市場性、すなわち社会ニーズが高く、DNP シェアの高い事業に集中投資を行うほか、次世代半導体パッケージ向け部材として期待されているガラスコアの開発投資を進めまして、市場成長率を上回る持続的な事業拡大を目指してまいります。

売上高および営業利益につきましても、右下のグラフで示すように、2024 年、2025 年とも、中期経営計画以上の水準となる見通しです。

若林：続きまして、成長牽引事業と位置づけている「デジタルインターフェース関連」の光学フィルム、メタルマスクについて、執行役員の富澤よりご説明いたします。富澤役員、よろしくお願いいたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

事業概要

DNP

ディスプレイ用光学フィルム

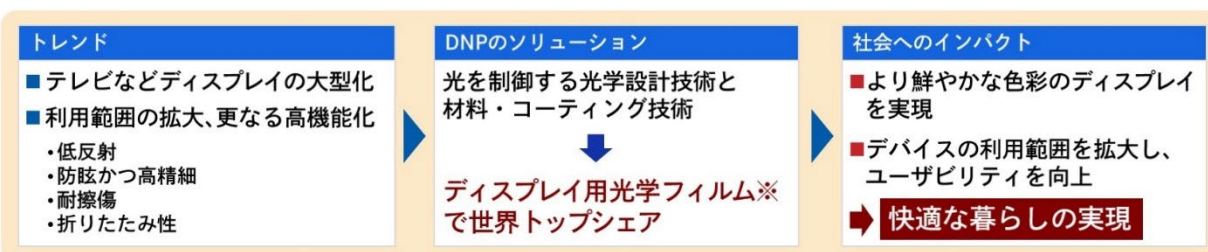
独自の光学設計技術とコンバーティング技術を駆使し、
多様な機能をもつ光学フィルムを提供

主な製品

- 反射防止(AR)フィルム、防眩(AG)フィルム
- 位相差フィルム



光の反射を制御して照明等の映り込みを低減する「光学設計技術」



※ディスプレイ表面用の反射防止フィルムおよび防眩フィルムにおいて

2

富澤：執行役員の富澤でございます。それでは「デジタルインターフェース関連」の光学フィルムについてご説明いたします。

2ページをご覧ください。はじめに、事業概要になります。我々は独自の光学設計技術とコンバーティング技術を駆使し、多様な機能を持つディスプレイ用光学フィルムを提供しております。

主な製品は、反射防止フィルム、防眩フィルム、位相差フィルムになります。これらの製品のトレンドは、テレビなどディスプレイの大型化、デバイスの変化、利用範囲の拡大等による“更なる高機能化”です。このような変化に対し、光を制御する光学設計技術と、材料、コーティング技術、ディスプレイ用では世界最大幅の設備を導入し、ディスプレイ用光学フィルムで世界トップシェアを獲得しております。

また、このような技術によって、より鮮やかな色彩のディスプレイを実現し、デバイスの利用範囲を拡大し、ユーザビリティを向上させ、消費者の快適な暮らしを実現したいと思っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



主力製品の機能と用途

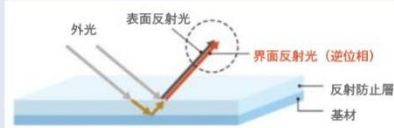
DNP

テレビやPC、タブレット、スマートフォンのディスプレイ最表面に使用される光学フィルム
使用環境に合わせた光学設計、様々な機能付与による豊富なラインナップ

反射防止 (AR : Anti-Reflection) フィルム



ARフィルム無し ARフィルム有り



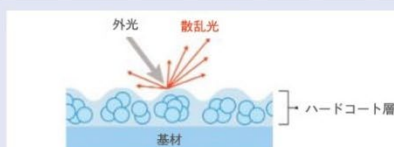
表面反射光と界面反射光の干渉を利用し、
反射光を抑えます。

防眩 (AG : Anti-Glare Film) フィルム



従来AG

高防眩AGLR



入射光を凹凸面で乱反射させて
外光の映り込みを軽減させます。

様々な機能付与



ハードコート (耐擦傷)

3

3 ページをご覧ください。次に、主力製品の機能と用途について説明させていただきます。

光学フィルムは主に、テレビやモニター、ノート PC、タブレット端末やスマートフォンの最表面
や内部に使われます。

反射防止フィルムは、表面反射光と界面反射光の干渉を利用し、反射光を抑えます。また、防眩フ
ィルムは入射光を表面凹凸で拡散させて、外光の映り込みを軽減させます。どちらも目に優しく、
ほとんどのディスプレイの表面に使われております。

さらにデバイスに合わせて、高硬度、耐擦傷性、防汚性、UV カット、帯電防止性といった、さま
ざまな機能を付与し、どんな環境下でも快適に使える製品を提供しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

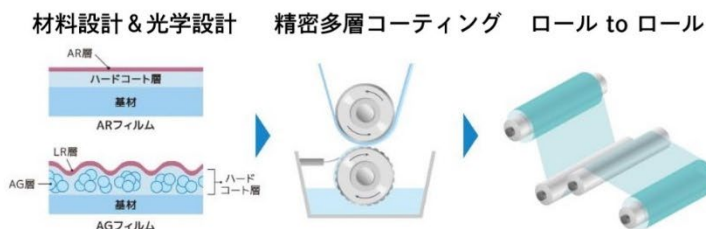
 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

DNPの基盤技術

DNP

独自の光学設計技術を核に、クリーンコーティングによる大面積・高機能化技術

DNPのコアテクノロジー



印刷のインキ材料を基材表面に薄く均一に付着させて覆うコーティング技術から派生した**精密塗工技術**。
光学設計技術や材料開発技術を深化することで、**多様な機能を持つ光学フィルム**を生み出しました。

4

4 ページをご覧ください。

このような製品の基盤技術は、独自の光学設計技術を核に、クリーンコーティングによる大面積、高機能化技術になります。AR (Anti-Reflection) フィルム、AG (Anti-Glare) フィルムともに、光学フィルムは高透明な基材に数ミクロン厚のハードコート層をコーティングし、さらにAR層は100ナノメートル (1nm=10億分の1メートル) 程度の厚さを均一にコーティングしたものです。

また機能を付与したり反射層を形成したりする際に、インラインで2層または3層を同時にロール to ロールで製造することができ、高い生産性と高品質なモノづくりを行っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

20

DNPディスプレイ事業の歩み

DNP

快適な暮らしの実現に向け、研究・開発から量産までディスプレイ技術の発展に貢献
“未来のディスプレイ”への新たな価値を提供



5

5 ページをご覧ください。続いて、DNP のディスプレイ事業の歩みになります。

DNP は、1958 年のブラウン管用シャドーマスクに始まり、液晶ディスプレイ用カラーフィルター、プロジェクションスクリーン、プラズマディスプレイ用では背面板、表面フィルム、電磁波シールド、近赤外線フィルター、そして現在の主力製品である液晶ディスプレイ用低反射フィルム、防眩フィルム、有機 EL ディスプレイ用メタルマスクと、快適な暮らしの実現に向けて、研究開発から量産まで、ディスプレイ技術の発展に貢献し、今後は未来のディスプレイへ新たな価値を提供していきたいと思っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

21

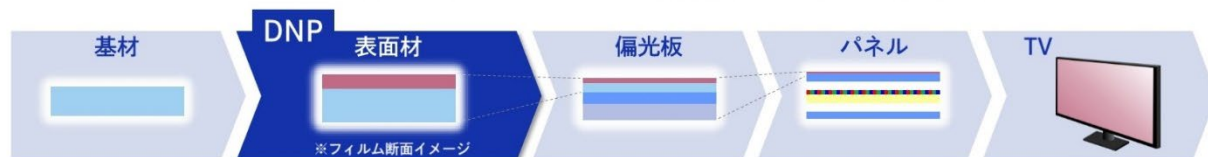
サプライチェーン

例) 『偏光板用光学フィルム』

DNP

▶ 液晶ディスプレイ (LCD) の表面偏光板用光学フィルム

- 全世界のTV、パネル、偏光板メーカーに偏光板用光学フィルムを提供



生産拠点



三原工場



岡山工場

開発拠点



柏

2,500mm幅対応 超広幅光学フィルム生産能力拡大 (三原工場、2025年度稼働予定)

6

6 ページをご覧ください。光学フィルムの中の主力製品である偏光板用表面処理フィルムのサプライチェーンについてご説明します。

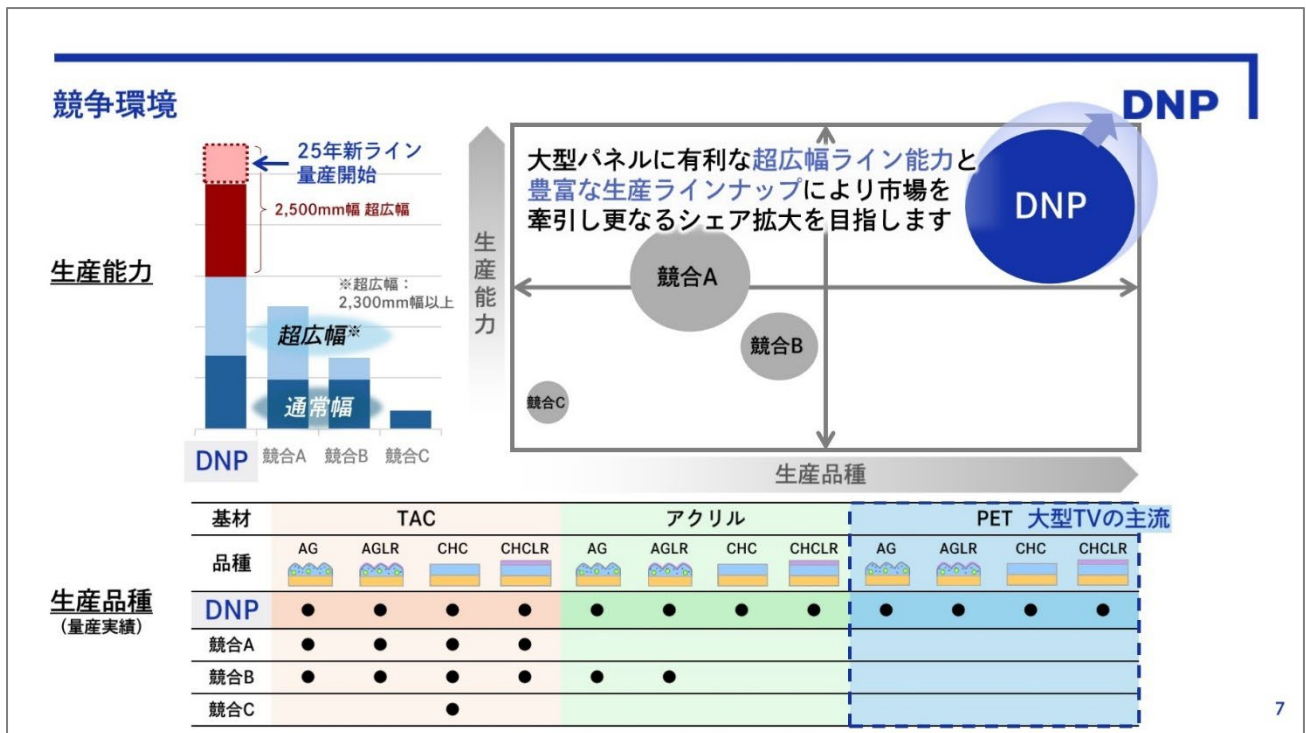
基材である高透明なフィルムに、DNP が AR や AG の機能、さらに機能を増やしたものを偏光板メーカーに供給し、そこでつくられた偏光板がパネルに貼られ、最終的には消費者が手にした際の最表面に DNP の光学フィルムがくるかたちになります。

お客様である偏光板メーカーは日本、韓国、台湾、中国と広がっており、DNP は全てのお客様に表面処理フィルムを提供しております。また、生産は広島県の三原工場、岡山県の岡山工場の2拠点で行い、開発は千葉県のパケでも行っています。2025 年度には、2,500 ミリ幅の超広幅として2台目となるラインも稼働し、生産能力を拡大していきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally



7ページをご覧ください。続きまして、競争環境についてです。

偏光板用光学フィルムでは、65インチのテレビ向けを効率よく取るために、2,500ミリ幅の超広幅ラインを業界で唯一保有し、豊富な製品ラインナップのもと、デバイスの変化に対応し、お客様のご要望に応える製品開発を行っていきます。

多くの製品ラインナップの中で、基材も重要な要素であり、現在大きく分けてTAC（トリアセチルセルロース）、アクリル、PET（ポリエチレンテレフタレート）とあります。特に大型のテレビでは、その低透湿性から、延伸フィルムでありながら複屈折による虹むらを解消した特殊なPETが用いられ、DNPが保有する特許の強みから、大きな広がりを見せています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

▶ フォルダブル（折りたたみ）ディスプレイ用カバーフィルム

- 最適な基材の選定とインキ設計・配合により、高硬度かつ屈曲性に優れたフィルムを開発

	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
フォルダブル 端末	内/外曲げ	クラムシェル		スライダブル		ローラブル	
		ノートブック		マルチホールド			

※各種資料をもとにした当社推計



カバーフィルム
薄型位相差フィルム

フォルダブルデバイス用カバーフィルム



- 「硬くて曲がる」を両立
- ガラスに近い耐擦傷性を実現
- 帯電防止や防汚性などの機能追加が可能

8

8 ページをご覧ください。次は競争戦略です。

DNP は、ディスプレイの最表面に使われる光学フィルムとは別に、有機 EL ディスプレイ用にコーティングタイプの位相差フィルムを提供しております。

また、2019 年頃から市場に出てきたスマートフォンのフォルダブル（折りたたみ）仕様において、最適な基材の選定とインキ設計・配合により、高硬度かつ屈曲性に優れた製品を開発、生産しています。今後、展開が期待されるフォルダブルデバイスに最適な特性、機能を付与した製品開発を行っていきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

- ▶ 大面積・高機能化技術、光の反射を制御する光学設計技術と材料・コーティング技術
- ▶ 高機能かつ高品質な製品を実現するインライン多層コーティング製造設備
- ▶ 材料や製造方法、製品に関する特許やノウハウを幅広く保有
- ▶ 高い生産性を追求しながら高品質な製品を安定して供給する能力
 - ーディスプレイ向け表面処理フィルムでは世界最大^{*}の超広幅2,500mmライン
 - ークリーン環境でのロール to ロール生産

※「2023 ディスプレイ関連市場の現状と将来展望」(株式会社富士キメラ総研) 2023年調査

9

9 ページをご覧ください。以上ご説明させていただきました内容を「DNP の強み」としてまとめました。

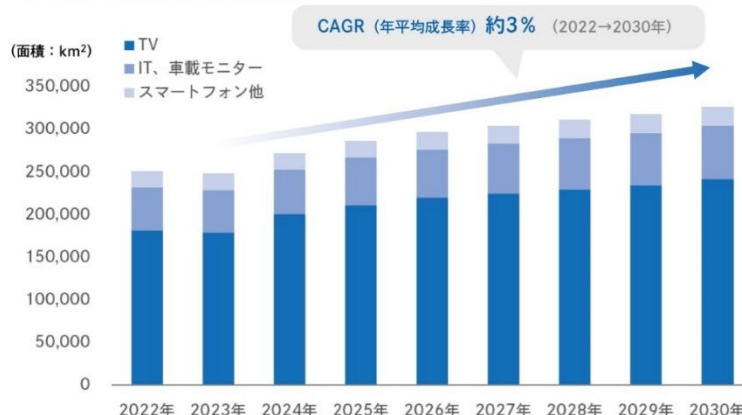
- 大面積・高機能化技術、光の反射を制御する光学設計技術と材料・コーティング技術。
 - 高機能かつ高品質な製品を実現するインライン多層コーティング製造設備。
 - 材料や製造方法、製品に関する特許やノウハウを幅広く保有。
 - 高い生産性を追求しながら高品質な製品を安定して供給する能力。
 - ディスプレイ向け表面処理フィルムでは、世界最大の超広幅 2,500 ミリライン。
 - クリーン環境でのロール to ロール生産
- であります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

ディスプレイ市場は、TVの大型化を背景に、CAGR 約3%の成長が見込まれる

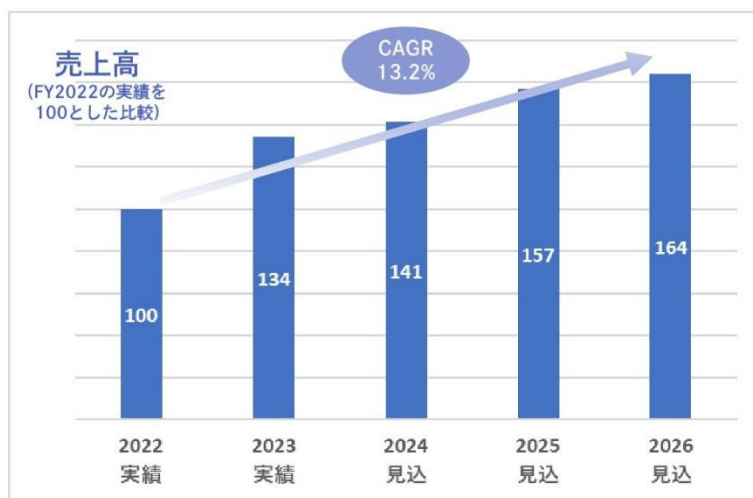
ディスプレイの世界市場見通し



出典：Omdia Display Long-Term Demand Forecast Tracker 4Q23

10 ページをご覧ください。続きまして、市場環境についてです。

こちらの棒グラフの横軸は 2022 年から 2030 年、縦軸は面積になります。台数では大きな成長は見込めませんが、テレビの大型化を背景に、CAGR で約 3%の成長が見込まれます。



市場成長率を上回る成長性

11 ページをご覧ください。

DNP は今後変化するディスプレイへの対応、高付加価値品への対応、既存品のシェアアップにより、市場の成長率を上回る CAGR13.2%を計画しております。

光学フィルムについては以上になります。

事業概要

有機EL用メタルマスク

有機ELディスプレイの薄型軽量化・高精細化・大型化を実現するメタルマスクを提供





有機EL製造 蒸着工程のイメージ図




メタルマスクを用いて製造した有機ELディスプレイのイメージ

トレンド

- スマートフォン向けの需要拡大
- 中小型デバイスでの採用拡大
 - ・スマートウォッチ
 - ・タブレット
 - ・ノートPC
 - ・車載

DNPのソリューション

独自のフォトリソグラフィとエッチング加工技術で高精細なメタルマスクを製造

↓

スマートフォン向けを中心に世界トップシェアを獲得

社会へのインパクト

- ディスプレイの薄型軽量化、高精細化を実現
- フレキシブルな形状を活かし、新しい用途の可能性を拡大

▶ 快適な暮らしの実現

2

続きまして、もう一つの成長牽引事業であります、有機 EL ディスプレイ用メタルマスクの事業概要について説明させていただきます。2 ページをご覧ください。

メタルマスクは現在、中小型有機 EL ディスプレイを製造する際の主流である蒸着方式で使用するマスクで、レッド、グリーン、ブルーの有機材料をガラスまたはフィルム基板に形成する際の部材になります。そして、このメタルマスクは、有機 EL ディスプレイの薄型・軽量化、高精細化、大型化を実現するために非常に重要なものになっています。

トレンドとしては今年、スマートフォンでの有機 EL ディスプレイ比率が 50%を超える見込みで、需要が拡大し、さらにタブレット端末、ノート PC、車載用のデバイスにも採用が拡大。お客様であるパネルメーカーも、設備能力を拡大しております。

DNP は独自のフォトリソグラフィとエッチング加工技術で、高精細なメタルマスクを製造し、スマートフォン向けを中心に、世界トップシェアを獲得しています。今後もディスプレイの薄型・軽量化、高精細化を実現し、フレキシブルな形状を活かした新しい用途の可能性を拡大し、快適な暮らしの実現に役立てていきたいと思っております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

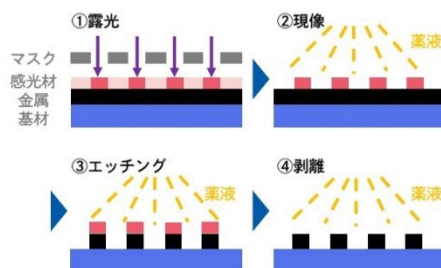


DNPの基盤技術

DNP

高精細な微細加工を実現する独自のフォトリソグラフィとエッチング加工技術

DNPのコアテクノロジー



“印刷用のはんこ”をつくる技術が生んだメタルマスク

より美しく鮮明に印刷するために「版」をつくる技術を磨き、高精度な「微細加工」技術へと高めてきました。

メタルマスクは、穴の位置・大きさに高い精度が必要。

DNPの高い精度を誇るフォトリソグラフィ技術や**金属のウェットエッチング技術**が大きな強みとなっています。

3

3 ページをご覧ください。

メタルマスクを製造する上での DNP の基盤技術は、高精細な微細加工を実現する独自のフォトリソグラフィとエッチング加工技術です。

印刷用のハンコをつくる技術が生んだメタルマスクですが、DNP は、より美しく鮮明に印刷するために版をつくる技術を磨き、高精度な微細加工技術へと高めてきました。

メタルマスクは穴の位置、大きさに高い精度が必要であり、DNP の高い精度を誇るフォトリソグラフィ技術や、金属のウェットエッチング技術が大きな強みとなっています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

- ▶ 高い精度を誇るフォトリソグラフィ技術とエッチング加工技術
- ▶ 優れた技術開発力
- ▶ 材料や製造方法、製品に関する特許やノウハウを幅広く保有
- ▶ 高品質・高精細な製品を安定して供給する能力

DNPは2001年からメタルマスクの開発を開始。
黎明期から普及に向けて、有機ELディスプレイの開発に貢献。

4 ページをご覧ください。

DNP の強みは、

- 高い精度を誇るフォトリソグラフィ技術とエッチング加工技術。
- 優れた技術開発力。
- 材料や製造方法、製品に関する特許やノウハウを幅広く保有。
- 高品質、高精細な製品を安定して供給する能力

であり、DNP は 2001 年にメタルマスクの開発を開始し、黎明期から普及に向けて、有機 EL ディスプレイの開発に貢献してきています。そして、高い技術力に裏付けられた世界トップシェアを誇る製品になっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

▶ 生産能力拡大に約200億円を投資

■ 黒崎工場(福岡県)の生産ラインの稼働を2024年5月に開始

※2024年6月12日 弊社ニュースリリース

■ 生産効率が高い第8世代のガラス基板に対応

- 有機ELディスプレイの大型化ニーズを先取り
- 事業継続計画 (BCP: Business Continuity Plan) を最適化
既存生産拠点である三原工場(広島県)のバックアップを可能



黒崎工場



メタルマスク第8世代(左)、第6世代(中央・右)

5

5 ページをご覧ください。

事業戦略として、有機ELディスプレイの大型化ニーズを先取りするとともに、BCP(事業継続計画)の観点から、従来の広島県の三原工場に加えて、福岡県の黒崎工場に約200億円を投資し、今年5月に稼働を開始させました。この設備はディスプレイの大型化ニーズに合わせて、従来の第6世代サイズから第8世代サイズへ対応したものになります。

右側は、メタルマスクの写真です。このシートに数千万個の穴が開いており、その穴を通して、有機材料が蒸着されます。一番右側と中央にあるのが第6世代でつくられたもので、左側が第8世代のサンプルです。

市場環境

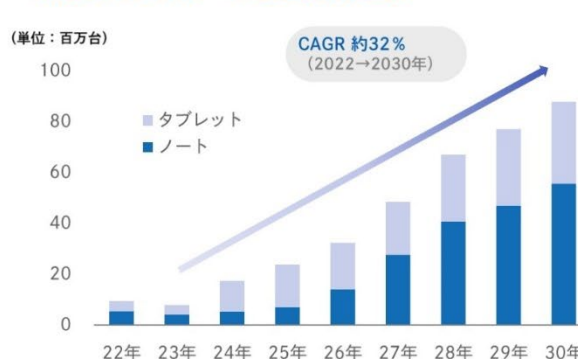
DNP

スマートフォンでの有機ELディスプレイの採用拡大 今後、タブレットやノートPCでの拡がりが見込まれる

<OLEDスマートフォン向けパネル生産台数の見通し>



<OLED タブレット/ノートPC生産台数の見通し>



出典：Omdia Display Long-Term Demand Forecast Tracker 4Q23

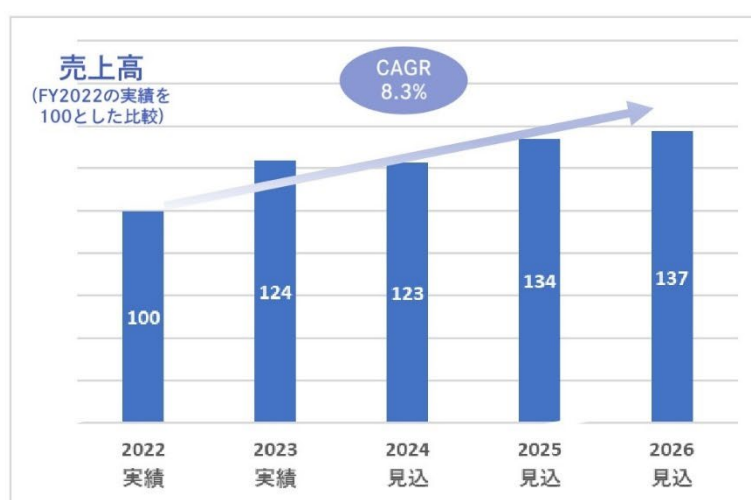
6

6 ページをご覧ください。

市場環境は、スマートフォンにおいて今後も LCD（液晶ディスプレイ）からの切替えが進み、2022年～2030年の CAGR で約 7%、タブレット端末、ノート PC 用で約 32% の成長が見込まれます。

DNPの業績推移と中期計画

DNP



7

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

7 ページをご覧ください。

DNP は今後変化するディスプレイへの対応、市場への安定供給により、市場の成長率を上回る CAGR8.3%を計画しております。

私からの説明は以上になります。

若林：ありがとうございました。続きまして、成長牽引事業と位置づけている「半導体関連」のフォトマスク、ガラスコアについて、執行役員の中西よりご説明いたします。

中西役員、よろしくお願いいたします。

中西：執行役員の中西です。それでは、「半導体関連」事業のフォトマスク、ガラスコアについてご説明いたします。2 ページをご覧ください。

半導体プロセスは、半導体とチップを作る「前工程」、チップを市場に出回るかたちに仕上げる「後工程」に大別され、当社は前工程から後工程までのさまざまなプロセスに製品、ソリューションを提供しております。

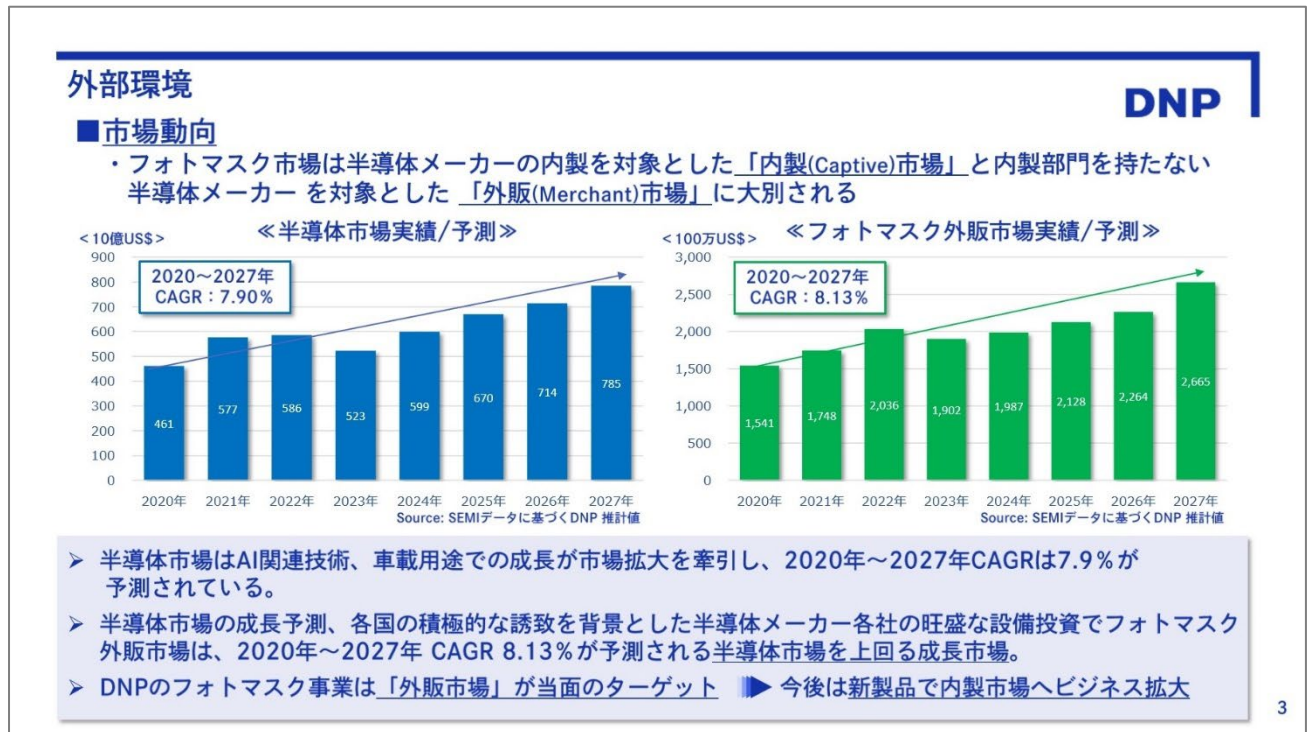
その中でフォトマスクは、前工程で使用される、当社の「半導体関連」事業における基幹製品です。右下の図にあるように、フォトマスクは、半導体の基板に光を使って半導体の微細なパターンを転写する際の写真のネガのような役割をするガラス板であり、その基板にナノ (nm) オーダーの微細な回路パターンが形成されたものです。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



スライドの左下にあるように、当社は印刷の原版をつくる微細加工技術と、微細なパターンを正確に転写する製版技術、これら印刷の基盤技術を掛け合わせて、フォトマスクを開発・製造しています。



3 ページをご覧ください。フォトマスクビジネスの市場環境についてご説明いたします。

フォトマスク市場は、半導体メーカーがフォトマスクを自社で作る内製市場と、外部から調達する外販市場があり、当社は外販市場でビジネスを展開しています。

左側の青いグラフは半導体市場の推移を示しており、半導体市場は AI や自動車用途の拡大が牽引し、2020 年から 2027 年にかけて、年平均成長率 7.9%で成長すると見込まれております。

右のグラフは、当社が事業展開するフォトマスク外販市場の推移を示しており、半導体市場の成長に合わせて、フォトマスク外販市場も 8.13%成長すると見込んでいます。

外販フォトマスク市場をメインターゲットとしながら、内製フォトマスク市場にも価値を提供することにより、さらに大きな成長を目指します。

サポート

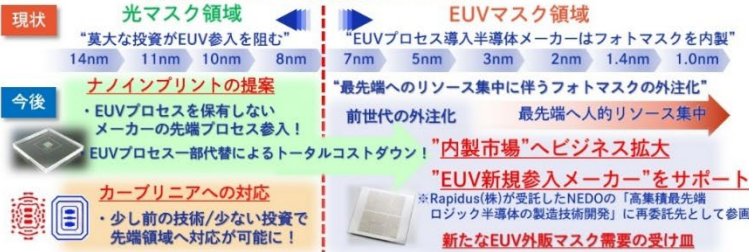
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



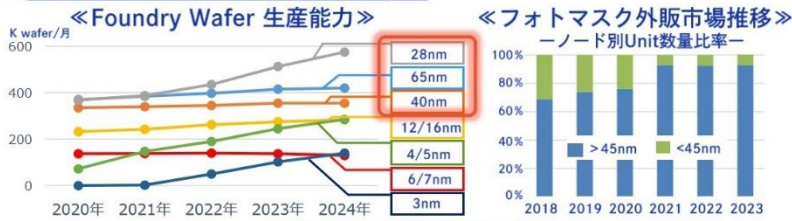
事業戦略

■ EUV・先端領域への対応強化

「先端プロセスの進展とDNPの取組」



■ ボリュームゾーンへの対応強化



投資規模：200億円（2023年度～2025年度）

DNP

EUV・先端領域への対応強化

- EUV用マスク開発加速
 - ・マルチビーム描画機を増設
 - ・3nm世代開発完了
 - ・2nm世代開発開始
- 独自技術ナノインプリント開発促進
 - ・各社からの引合い増加
 - ・各社開発をサポート
- カーブリニア開発加速
 - ・各社からの引合い増加

ボリュームゾーン向け生産能力拡大

- ミドルエンド向け投資実施中
 - ・2023～2025年度 順次稼働

生産能力
・2025年：120%（2022年比）

4

4 ページをご覧ください。当社のフォトマスク事業の基本戦略をご説明いたします。

当社の基本戦略は、先端、最先端領域に開発リソースを集中し、技術開発、設備投資をしていくことと、より線幅の太いボリュームゾーンの領域に積極的に設備投資をして、キャパシティを確保することです。

資料の上半分で、先端、最先端の領域についてご説明しています。赤い縦の点線の右側が、EUV（極端紫外線）と呼ばれるプロセスを使う最先端領域です。この領域では、現在世界で量産化されている最先端の3ナノ世代半導体向けのフォトマスクの開発を完了し、販売しています。

次の2ナノ世代の開発にもすでに取り組みしており、日本のRapidus社を通じて、NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の高集積最先端ロジック半導体の製造技術開発の再委託先として参画しています。これからEUV領域へ参入する半導体メーカー様にEUVマスクを供給させていただき、お客様がチップ開発、製造に集中できるようにすることで、価値を提供してまいります。

またEUVマスクを内製されるお客様には、一部の工程をこの後ご説明するナノインプリントプロセスに置き換えることによって、トータルコストダウンに貢献します。

赤い点線の左側は、EUVを使わない先端領域です。この領域の最も細かい線幅は8ナノ世代です。この領域に、ナノインプリントとカーブリニアという技術を提供することにより、実績のある経験値の高いプロセスで、より細かい線幅の半導体製造を可能にします。

サポート

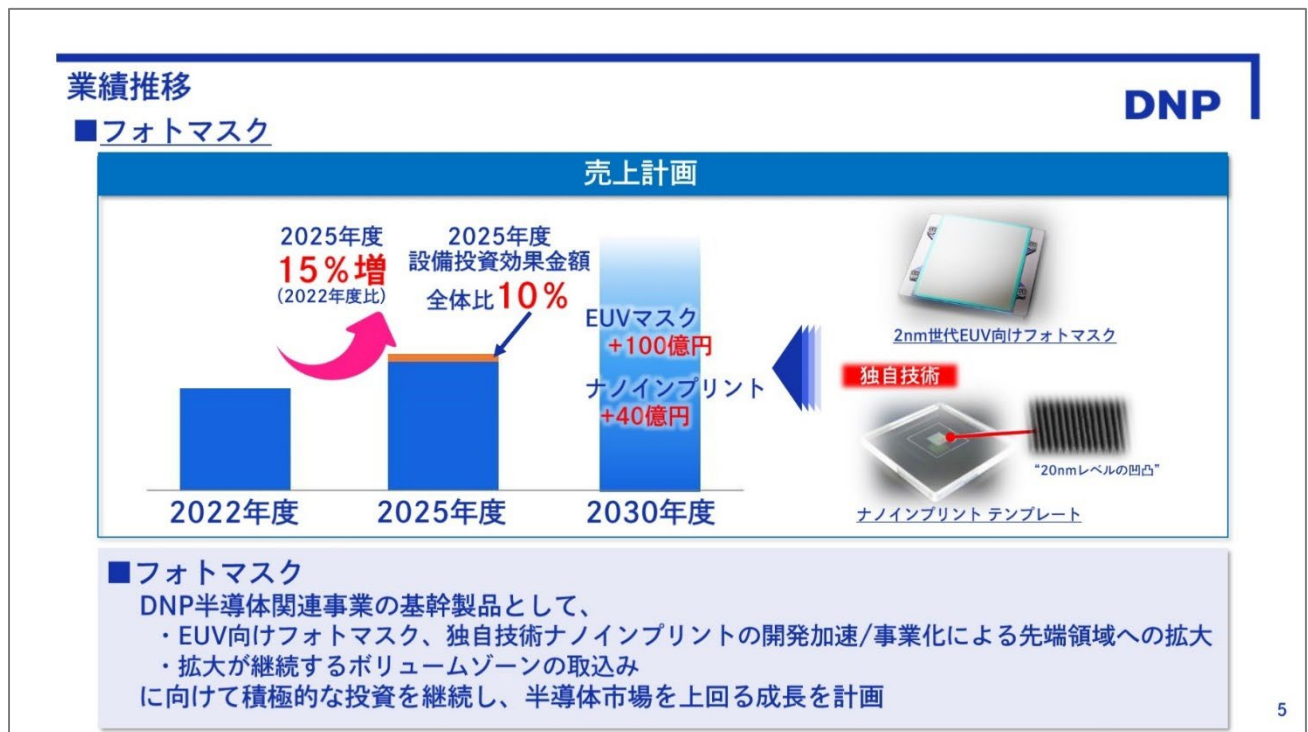
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

ナノインプリントは、表面に微細な凹凸を付けた基板を物理的に押し当てることにより、回路パターンを形成するもので、複数の半導体工程を一つにまとめることを可能にし、半導体製造のローコスト化とカーボンニュートラルに貢献する技術です。

カーブリニアは、実際には転写されない特別で複雑なパターンをフォトマスク上に形成することにより、お客様がフォトマスクを使って露光する際にパターン同士が相互作用して、より高精細な回路パターンを形成する技術です。

画面の下半分は、ボリュームゾーンに関するご説明です。数量面では、先端半導体よりも線幅の太い 65 ナノから 28 ナノが当面のボリュームゾーンになると見込んでいます。この領域に集中投資をして、2023 年から 2025 年まで、生産キャパを約 20% 増やします。

ボリュームゾーンから最先端にかけて、3 年間で 200 億円の投資を実施いたします。



5 ページをご覧ください。これらの戦略によって実現する業績の推移についてご説明します。

グラフが示すように、2022 年から 2025 年にかけて、売上を約 15% 増やします。そのうち 10% は、新たな設備投資によるものです。さらに 2030 年度には、EUV マスクによりプラス 100 億円、ナノインプリントによりプラス 40 億円の売上増を目指します。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

まとめとなりますが、フォトマスク事業はDNPの「半導体関連」事業の基幹製品として、EUV向けフォトマスク、独自技術であるナノインプリントに開発投資を集中し、開発を加速して事業化することにより、先端領域のビジネスを拡大します。

そして同時に、先端領域よりも太い線幅のボリュームゾーンに対して積極的に設備投資し、生産キャパを確保することにより、半導体市場の成長を上回る成長を目指します。



次に、現在開発中のガラスコアについてご説明いたします。2ページをご覧ください。

ガラスコアは、半導体の後工程のチップ実装工程で用いられる基板です。当社はリードフレームをチップ実装工程向けの製品として事業展開していますが、リードフレームは太い線幅の半導体の実装に使われる部材であり、本日はご説明するガラスコアは、最先端の細い線幅の半導体に使われる部材です。

ガラスコアの“コア”とは、半導体チップを支えるベース基板のことであり、現在は樹脂製のコアが使われています。半導体チップの微細化・大型化が進むと、より平坦性が高く、反りの少ないコアが要求され、それを実現する材料としてガラスが注目されています。

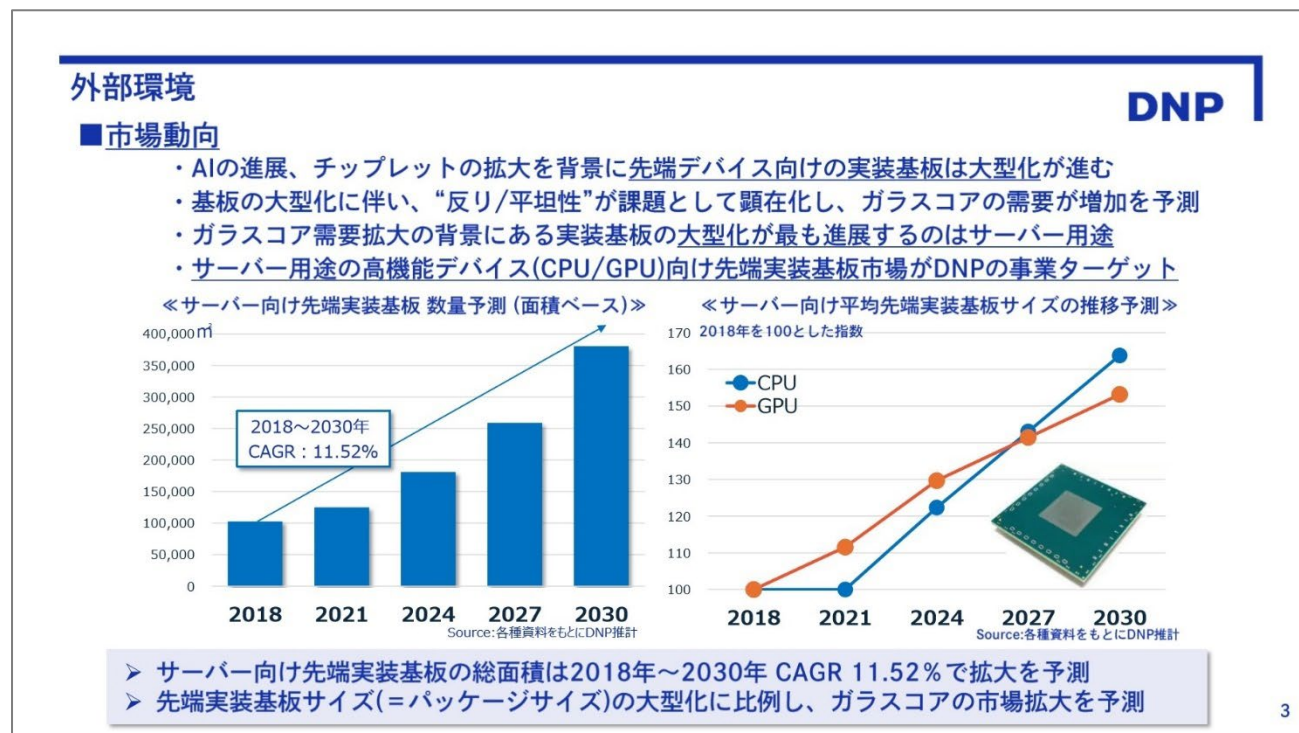
ガラスには表と裏を接続する微細で高密度な貫通電極の形成が必要となります。当社は、フォトマスク製造・MEMS製造で培った微細加工技術と、液晶ディスプレイ向けカラーフィルター製造で培った薄い大型ガラスをハンドリングする技術を掛け合わせて、ガラスコアを開発しました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



半導体の後工程に価値を提供する製品として、当社の次世代の成長を牽引する事業として、開発を進めてまいります。



3 ページをご覧ください。ガラスコアの市場環境をご説明します。

左のグラフは、サーバー向け半導体実装基板の伸びを面積の変化で示したものです。実装基板の総面積が増えるのは、もちろん半導体の個数が増えるからでもあります。半導体 1 個当たりの面積が大きくなるのもその要因です。半導体の大面積化を牽引するのは、サーバー向けの最先端 CPU や GPU などの高機能デバイスです。

右のグラフは、CPU や GPU の面積が年々大きくなることを示しています。当社は、半導体の面積が大きくなるにつれ、平坦性が高く、反りの少ないガラスコアのニーズが高まると考え、その開発を進めています。

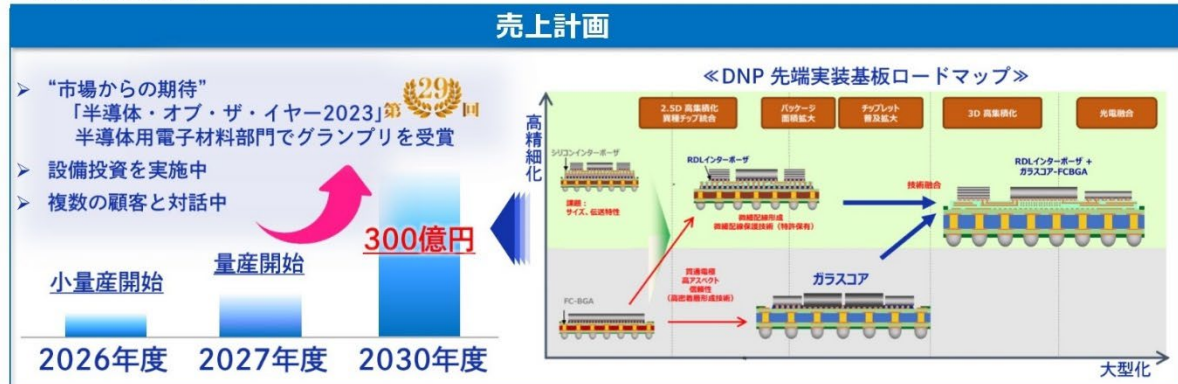
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

業績推移

DNP

■ 先端実装部材



■ 先端実装部材

- ・既存事業技術の掛け合わせ、サプライチェーン各社との協働を強みとして
- ・ガラスコア及び、関連製品“RDLインターポーザ”を、大きな成長が期待される先端実装領域へ投入
- ・“ガラスコア”及びRDLインターポーザはDNPの“半導体関連事業”に新たなポートフォリオ “先端実装部材”を加え、次世代での成長を牽引する新規事業として大きな成長を計画

4

4 ページをご覧ください。ガラスコアの業績推移についてご説明いたします。

当社のガラスコアは、2023年に「半導体・オブ・ザ・イヤヤー」でグランプリを受賞させていただきました。市場からの大きな期待を実感しています。すでに複数のお客様と対話を進めながら、設備投資を始めており、2026年度には小量産、2027年度には量産を開始します。

本日は詳しくご説明していませんが、並行して開発しているRDL（再配線層）インターポーザと併せて、これら先端実装部材を当社の「半導体関連」事業のポートフォリオに加え、2030年度には先端実装部材を年商300億円の事業に成長させる計画です。

私からの説明は以上となります。ありがとうございました。

若林：続きまして、成長牽引事業と位置付けている、「モビリティ・産業用高機能材」のバッテリーパウチについて、常務執行役員の飯田よりご説明いたします。飯田常務、よろしくお願いいたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally


1. バッテリーパウチについて
2. 電動車（EV、PHEV）の市場動向について
3. バッテリーパウチ事業計画
4. バッテリーパウチ事業戦略
5. その他産業用高機能材関連製品
 - 太陽電池関連部材

飯田：バッテリーパウチ関連の事業を担当しております、飯田と申します。

私からは、バッテリーパウチの市場動向と、事業計画、事業戦略についてご説明した後に、太陽電池関連製品の取り組み状況についても触れさせていただきます。


バッテリーパウチとは

◆製品イメージ




◆製品展開

車載系



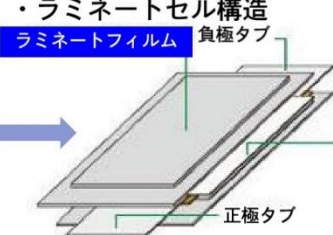
IT系



・バッテリーセル

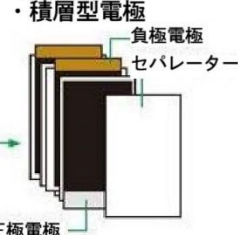


・ラミネートセル構造



ラミネートフィルム 負極タブ 正極タブ

・積層型電極



負極電極 セパレーター 正極電極

◆パウチに必要な機能

- ・電解液を漏らさない為
高いシール性・気密性
- ・外部からの水の混入を防ぐ為
高い水蒸気バリア性
- ・電池容量を稼ぐ為
高い成形性
- ・高電圧・大型電池対応の為
高い絶縁性
- ・過酷環境下での安定稼働の為
耐熱・高温下での安定性

3 ページをご覧ください。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

バッテリーパウチとはリチウムイオン電池の外装材であり、電池の中身を保護する役割を持ちます。特にリチウムイオン電池は溶剤系の電解液が入っており、その電解液が長期間 外に漏れず、また外部から水等が入ったりせず、さらに高い絶縁性も必要となる部材です。

バッテリーパウチは、電池が長期間安定して作動する上で、非常に重要な役割を持っています。用途については、スマートフォン、タブレット端末、ノート PC に代表されるモバイル IT 用途と、電動車用途となります。

トップシェアを誇る製品



**世界
No.1**

リチウムイオン電池用
バッテリーパウチ



ディスプレイ用
光学フィルム



(視野角制御フィルム)



昇華転写用記録材




**国内
No.1**

非接触 IC カード
(金融系 IC カードなども国内
トップシェア)



住宅用内装材 (床・壁紙)



ペットボトル飲料用
無菌充填システム



4

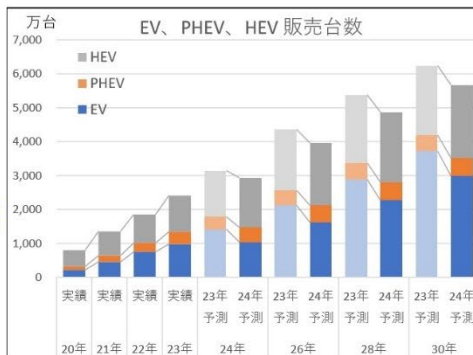
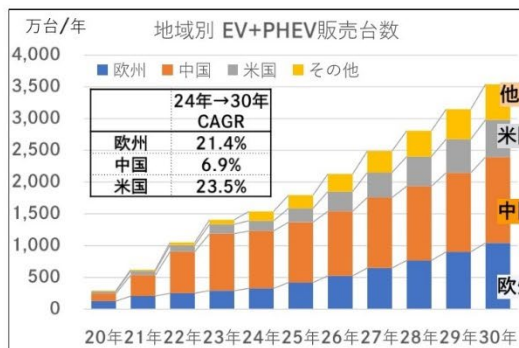
4 ページをご覧ください。

当社のバッテリーパウチは、長年の実績と高信頼性が業界で高く評価されまして、世界トップシェアにあります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

電動車 (EV、PHEV) の市場動向



DNP

	24年	26年	28年	30年
EV	-27%	-24%	-21%	-20%
PHEV	18%	15%	11%	12%
HEV	12%	11%	12%	10%

EV台数は下方修正も
PHEV、HEVは上方修正

各社EV中心から
PHEV、HEVへの
多角化戦略へ移行が進む

出典: Global Data、マークライنز/各国政策、自動車メーカープレスリリースなどをもとに当社予測

- 自動車の電動化 (EV、PHEV) の大きな流れは変わらない。
但し、EVの充電設備が整い、車種が増え、価格がこなれてくるまでは電動化はHEV、PHEVを含め、多角的に進展しEVへ移行すると予測する。
- EV純化するもHEV、PHEVが伸長し、パウチの伸びに一定量寄与見込む。
2025年 EV 約1,350万台 PHEV 約460万台 HEV 約1,720万台 EV+PHEV比率: 約19%
2030年 EV 約3,000万台 PHEV 約530万台 HEV 約2,150万台 EV+PHEV比率: 約35%

5

5 ページをご覧ください。電動車の市場動向について、ご説明いたします。

最近の動向として、欧米を中心に電気自動車の伸びが鈍化している状況にありますが、電動化の大きな流れは変わらないと見ています。

電気自動車、EV の充電設備が整って、車種が増え、選択肢が増し、価格がガソリン車に近くなっていくことで、EV は確実に伸長していくものと予測しております。また、EV 一辺倒ではなくて、PHEV、HEV を含め多角的に進展して、最終的には EV へ移行するものと見込んでおります。

このような状況から、電動車の市場予測については、昨年予測と比較して変更しております。右上の表の、昨年との台数見込みの修正比率をご覧ください。EV では昨年比マイナス 20%強、PHEV、HEV は 10 から 20%近いプラスの伸びを見込んでおります。

また、当社のバッテリーパウチへの影響については後ほど詳細を説明いたしますが、EV の鈍化で直近のパウチ数量の伸びは鈍化しています。ただし PHEV、HEV にもパウチタイプは使われておりまして、今後これらがさらに増えていけば、一定の寄与を見込んでいます。

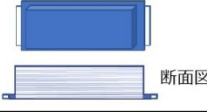
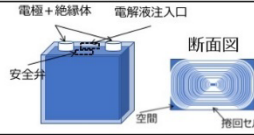
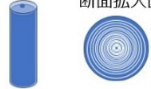

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

自動車用途に適用される電池3タイプの比較

DNP

【概要】軽量で異物混入の危険度が低く、複雑なBMSが不要なパウチ型電池が自動車用途に広く採用されている

	パウチ型	角缶型	円筒型
			
セル	部品点数が少なく、 低コスト	部品点数多く、 高コスト	規格化された汎用品、 低コスト
内部構造	積層型/真空シール	捲回型/容器隅に空間あり	捲回型
重量エネルギー密度	軽い ：200~300Wh/kg	重い ：80~240Wh/kg	軽い：200~300Wh/kg
密封性	PP樹脂シール	溶接	カシメ
安全弁構造	シール部	金属の部分切り欠き加工	樹脂部品
容器の異物対策	クリーン環境下で生産。洗浄工程不要	金属加工後、洗浄工程あり	金属加工後、洗浄工程あり
モジュール化 した際に発生する メリット デメリット	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 薄く、面積の広いセル構造の為、放熱効率に優れる。 生産工程において、セル挿入が容易 電解液注入・ガス抜きが角缶に比べ容易 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> モジュール構造に剛性が必要。 	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池セルに剛性がある為、モジュール構造を簡素化出来る。 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池セル内部に空隙があり体積エネルギー密度の面で不利になる。 生産工程において、電解液注入電解液浸透に時間を要する。 	<p>【メリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 1セル当たりの負荷が少ない EV1台:約6000本 <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高度なBMSが必要 (BMS: Battery management system)  <p>円筒を組み合わせてモジュール化する際に21.5%空隙が生まれる</p> $1 - \frac{\pi R^2}{(2R)^2} = 1 - \frac{\pi}{4} = 21.5\%$

6

6 ページをご覧ください。

電池タイプには大きく3タイプがありまして、車載用途にはそれぞれが共存している状況です。それぞれの特徴について、簡単に説明いたします。ちなみにモバイル用途に関しては現在、薄型・軽量のメリットから、パウチタイプ電池の搭載が大半を占めている状況です。対して、自動車用途に関しては3タイプの外装方式が採用されており、それぞれメリット、デメリットを持って運用されています。

まず、左のパウチタイプです。薄型・軽量で、放熱効率が良いという特徴があります。また、電極は1枚1枚重ねていくスタッキングという方式が採用されておりまして、重量エネルギー密度に優れています。ただし、モジュール構造に剛性を持たせる必要があります。

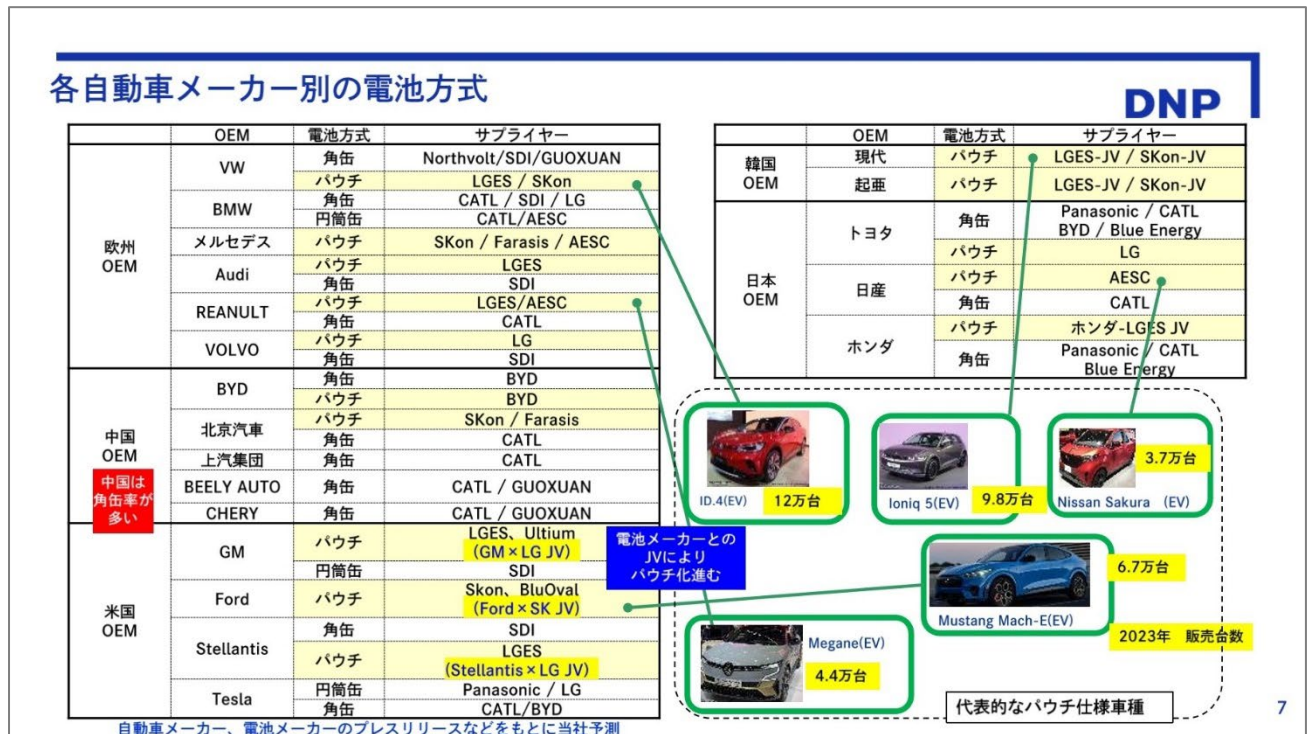
続いて、中央の角缶タイプです。剛性があって、モジュール構造を簡素化できます。取り扱いやすいこともあって、中国で多く使われています。電極をくるくる巻いて缶にセットする捲回（けんかい）という方式が採用されていまして、どうしてもこの性質上、隙間空間ができることで、体積エネルギー密度が不利になります。

続いて、右側の円筒タイプです。こちらは規格化されたもので、低コストでエネルギー密度も高いという特徴があります。ただしEV1台に数千本が必要になると、電池1本1本を正確に制御するBMS（バッテリーマネジメントシステム）が複雑になります。テスラが採用しておりまして、この点をクリアしていますが、難易度が高いと言われています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

各方式別シェアとしては、パウチタイプが約20~30%、角缶タイプは中国での採用が多いという事で最もシェアが高く、50%強と見積もっています。残りが円筒タイプです。当社はパウチの良いところを伸ばして弱点を克服すべく、現行パウチの改良を進めるとともに、現在のものとは異なる次世代パウチの開発も進めております。



7ページをご覧ください。各自動車メーカー別の電池方式について説明いたします。

先ほどご説明したとおり、中国は角缶タイプが多い状況ですが、欧米ではパウチタイプが広く採用されています。特に今後、米国、アメリカでの採用が進む見込みです。

アメリカの場合、自動車メーカーと電池メーカーとが合弁会社を設立するケースが多くて、自動車メーカーが自ら電池製造に関わり、投資しています。例として、GM×LGのJV、フォード×SKのJV等です。すなわち、自動車メーカー自身も覚悟を決めて電池製造に関わっており、このライン稼働を今後優先するものと思われま。ここにしっかりと我々が入っていくことが、当社の一つの大きな戦略であり、今後、米国での数量増を計画しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

急拡大する北米での自動車用電池工場

パウチ仕様 電池工場 稼働予定

自動車メーカー、電池メーカーのプレスリリースなどをもとに当社作成

DNP

メーカー	場所・電池タイプ	Maxキャパ (GWH)	想定OEM	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
LGES	ミシガン	5	GM	5GWH									
LGES (トヨタ専用ライン)	ミシガン	20	トヨタ					稼働開始		20GWH			
Ultium (LGES・GM合併)	オハイオ 第1工場	42	GM		稼働開始			稼働開始		42GWH			
	テネシー 第2工場	52	GM			稼働開始		稼働開始		52GWH			
	ミシガン 第3工場	50	GM				稼働開始	稼働開始		50GWH			
LGES・ホンダ 合併	オハイオ	40	ホンダ					稼働開始		40GWH			
LGES・スズキ 合併	オンタリオ (カナダ)	49	PSA・クライスラー					稼働開始		49GWH			
LGES・現代 合併	ジョージア	30	現代					稼働開始		30GWH			
SKon	ジョージア 第1工場	10	Ford・VW		稼働開始			稼働開始		10GWH			
	第2工場	12	Ford・VW			稼働開始		稼働開始		12GWH			
Blue Oval (SKon・Ford合併)	テネシー	43	Ford					稼働開始		43GWH			
	ケンタッキー 第1工場	43	Ford					稼働開始		43GWH			
	第2工場	43	Ford				延期	稼働開始		43GWH			
SKon・現代 合併	ジョージア	35	現代					稼働開始		35GWH			
AESC	テネシー	18	ルノー・日産・三菱他	3GWH						18GWH			
	ケンタッキー	30	日産・ダイムラー・マツダ					稼働開始		30GWH			

主要電池メーカーは23年以降工場の本格稼働開始、25~26年に新たな工場稼働で数量増を見込む

8

8 ページをご覧ください。

その米国において2023年以降、Ultium、GMとLG社の合併や、韓国SKonのジョージア工場の本格的な稼働が開始しております。

急拡大する北米での自動車用電池工場

パウチ仕様 電池工場 稼働予定

自動車メーカー、電池メーカーのプレスリリースなどをもとに当社作成

DNP

メーカー	場所・電池タイプ	Maxキャパ (GWH)	想定OEM	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
LGES	ミシガン	5	GM	5GWH									
LGES (トヨタ専用ライン)	ミシガン	20	トヨタ					稼働開始		20GWH			
Ultium (LGES・GM合併)	オハイオ 第1工場	42	GM		稼働開始			稼働開始		42GWH			
	テネシー 第2工場	52	GM			稼働開始		稼働開始		52GWH			
	ミシガン 第3工場	50	GM				稼働開始	稼働開始		50GWH			
LGES・ホンダ 合併	オハイオ	40	ホンダ					稼働開始		40GWH			
LGES・スズキ 合併	オンタリオ (カナダ)	49	PSA・クライスラー					稼働開始		49GWH			
LGES・現代 合併	ジョージア	30	現代					稼働開始		30GWH			
SKon	ジョージア 第1工場	10	Ford・VW		稼働開始			稼働開始		10GWH			
	第2工場	12	Ford・VW			稼働開始		稼働開始		12GWH			
Blue Oval (SKon・Ford合併)	テネシー	43	Ford					稼働開始		43GWH			
	ケンタッキー 第1工場	43	Ford					稼働開始		43GWH			
	第2工場	43	Ford				延期	稼働開始		43GWH			
SKon・現代 合併	ジョージア	35	現代					稼働開始		35GWH			
AESC	テネシー	18	ルノー・日産・三菱他	3GWH						18GWH			
	ケンタッキー	30	日産・ダイムラー・マツダ					稼働開始		30GWH			

主要電池メーカーは23年以降工場の本格稼働開始、25~26年に新たな工場稼働で数量増を見込む

9

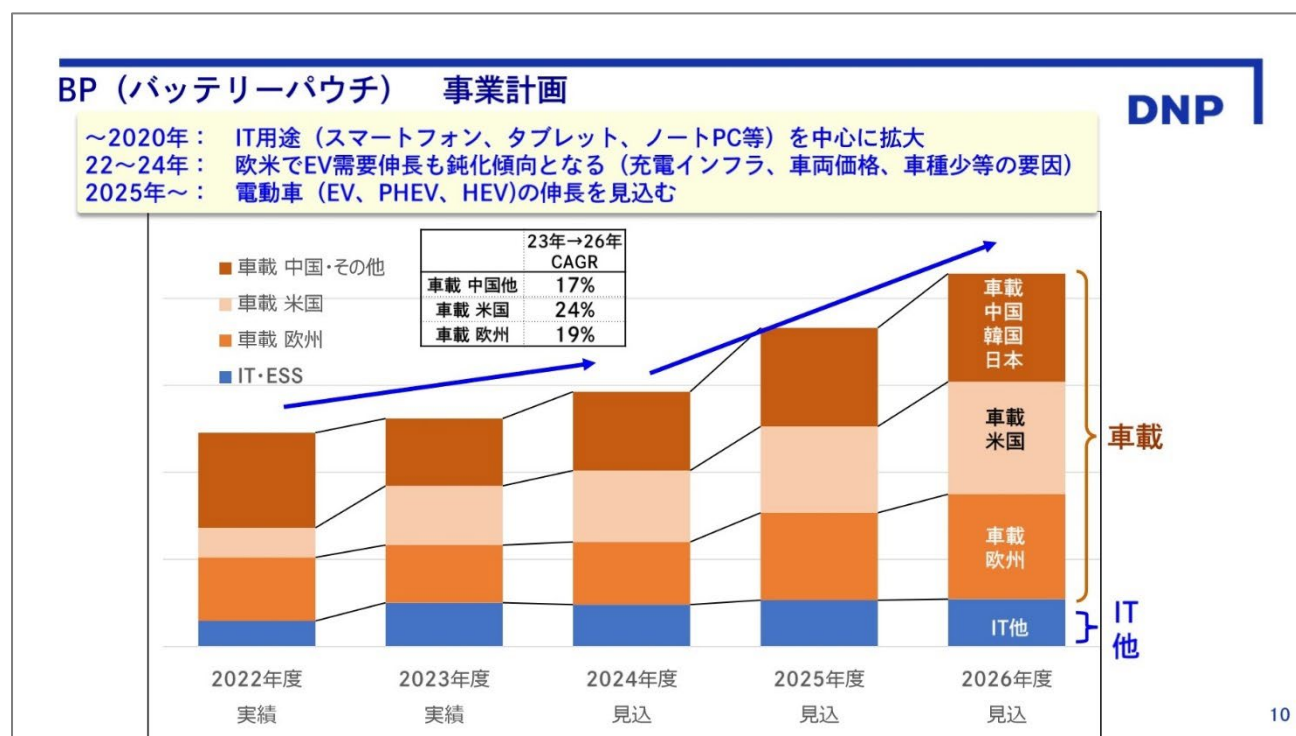
9 ページをご覧ください。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

昨今のEVの伸び鈍化にともなって、工場の新設の延期や建設保留が出ている状況ではあります。ただし、この表にある“レ点”の工場は、2025年から26年に稼働すべく進められています。これらが多少さらに延期等になったとしても、多くのパウチ需要が出てきている状況にあります。

また、これらの工場はEVのみならず、PHEV、HEVの電池製造もできるように変更していると聞いています。このような対応はEV需要の鈍化を補うことから、パウチ需要の安定増が見込まれます。



10 ページをご覧ください。バッテリーパウチの事業計画について説明いたします。

2020年まではスマートフォン、タブレット端末、ノートPC、これらのIT用途を中心に拡大してきました。その後、車載用途が増えて、車載の比率が7割から8割を占める状況にあります。

現在、欧米のEV用途は鈍化傾向にありますが、25年以降はまた再びEVの伸長、そしてPHEV、HEVも増え、パウチの年率15%から20%の伸びを見込んでおります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

BP(バッテリーパウチ) 製品競争力を更に高める

DNP

業界チャネルを使いニーズの先取り、「強み」をさらに「強化」

長年培った高品質・高信頼性を武器に「パウチにおける業界リーダー」を堅持・拡大

【生産技術】

長年の製造で磨き上げた品質と信頼性

- ・ 独自開発プロセスに合致した内製設備開発
～全てDNP社内開発設備で生産
プロセス適応性、ノウハウの流出防止
- ・ 高生産性、高歩留り、自動化を推進

【製品開発】

自社設計による機能性追求

- ・ 材料開発：自社設計、材料メーカーとのアライアンス
プロセス開発：独自プロセスによる特性向上
 - ▷ 長期耐久性、信頼性をさらに高める
 - ▷ 高性能パウチ（絶縁、耐熱性、成型性等）
 - ▷ 次世代電池（半固体、全固体等）いち早く対応

【競合対応】

製品・技術の参入障壁確保

- ・ 多数特許保有し、他社参入抑制
(500件以上の権利保有)
- ・ 製造ノウハウの秘匿（製造設備の内製 等）
- ・ 材料メーカーと連携した戦略材料の開発・製造

【顧客対応】

戦略顧客との関係強化、現地生産

- ・ グローバルEV電池メーカーとの関係強化
 - 車載：車載用電池メーカーへの供給量確保
自動車メーカー（OEM）との関係強化
 - IT用途：有力顧客との関係強化
- ・ 各国の政策に対応し、現地生産化推進

11

11 ページをご覧ください。バッテリーパウチ製品の競争力についてです。

まず生産技術については、独自開発のプロセスでありまして、主要設備は社内開発設備で、すなわち内製化しています。このことによって、ノウハウの流出防止を図っています。

続いて製品開発ですが、特に材料については自社設計するとともに、材料メーカーとの特別なアライアンスを組んで、こちらも技術流出には十分注意して進めています。また、次世代電池として有望な全固体電池は、パウチ方式が有利といわれています。この開発にも力を入れています。

続いて、競合対応です。特許 500 件以上を我々は所有しておりまして、他社の参入の抑制に活用していきます。

顧客対応については、各国の政策に応じて、現地生産化を検討していきます。電池メーカーが要望する幅にスリット加工するという、我々は後工程と呼んでいますが、この工程はすでに中国、欧州デンマークで行っています。米国についても土地を取得して、今後生産を行うべく、準備を進めています。

以上、直近の EV の伸びの鈍化については、当社のバッテリーパウチ事業にも影響は出てきておりますが、車の電動化の大きな流れは変わっていないと見ています。したがって方針に変更はなく、時期を見極めながら対応を行っていく予定です。

サポート

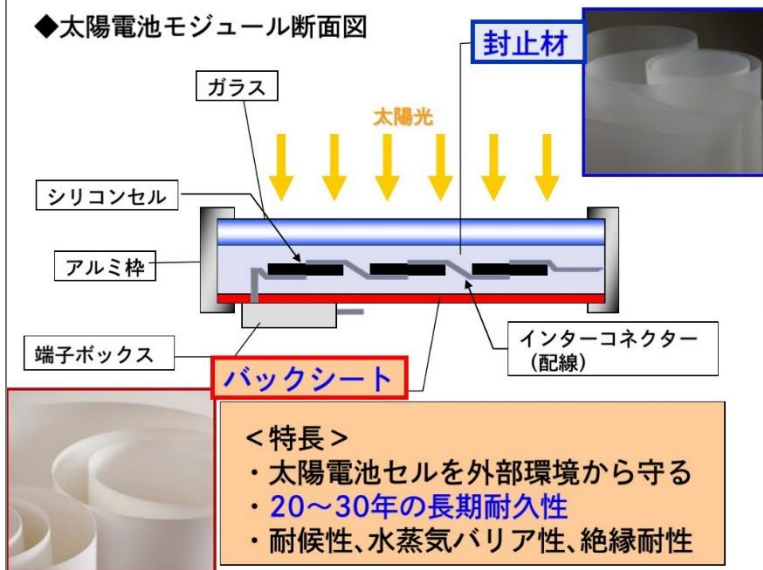
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

太陽光パネル関連製品

DNP

◆太陽電池モジュール断面図



<特長>

- ・太陽電池セルを封止し、保護する
- ・20～30年の長期耐久性
- ・透明性、接着特性、ラミネーション性

反射シート



<特長>

- ・高い反射率で発電量を向上
- ・防汚性にも優れて
- ・長期間の発電量向上が期待

<特長>

- ・太陽電池セルを外部環境から守る
- ・20～30年の長期耐久性
- ・耐候性、水蒸気バリア性、絶縁耐性

12

12 ページをご覧ください。本日は、もう一つの商材について説明させていただきます。

当社の成長事業の一つとして、「産業用高機能材」という製品群を掲げています。バッテリーパウチはこの機能材の一つではありますが、ほかにも有望な製品があります。

その一つが太陽電池関連製品です。こちらが太陽電池モジュールの断面図でありまして、当社は大きく二つの製品を手がけています。太陽電池の発電用シリコンセルを保護する「封止材」と呼ばれるものと、外部環境からの水等の浸入を防止する「バックシート」というものです。当社製品は、長期耐久性に優れることが評価され、拡大しています。

また最近プレスリリースした DNP の「反射シート」が右側にあります。こちらは地面に敷いて、反射シートに当たった太陽光を発電セルに戻すもので、発電効率を上げる製品です。こちらの新製品も採用が進んできています。

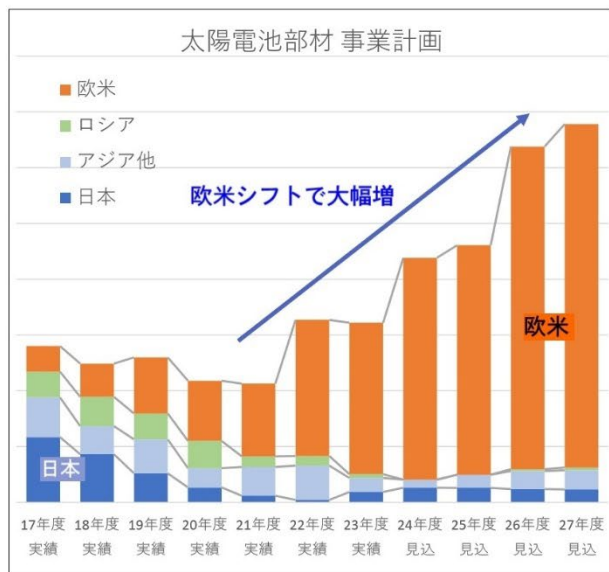
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

太陽光パネル (PV)関連事業計画

DNP



国内のPVメーカーが自社製造から撤退する中
高信頼性・高品質を武器に欧米シフトに成功

- ・大幅売上増見込む
24年は21年の2倍を見込む
- ・設備増強計画
25年に新規設備導入し生産能力増強

- ✓ 旺盛な米国内需要に対応した生産体制を構築
 - ・IRAでPV設置加速
 - ・中国品の競争力低下 (セーフガード強化)
- ✓ 欧州の需要増に対応
 - ・「EU Solar Strategy」を策定。
30年までに600GWの新規導入目標

13

13 ページをご覧ください。こちらのグラフが、太陽電池関連製品の売上実績と今後の計画です。

従来は、国内太陽電池メーカー中心に供給してきました。しかしながら、国内メーカーが自社生産から撤退する等で、国内向けはシュリンクしてきました。

国内で培った実績をもとに欧米の太陽電池メーカーにアプローチして、今年は21年比約2倍の売上を見込んでいます。これらの旺盛な需要から、来年25年には新規に設備導入し、さらに拡大していく予定です。

以上、本日は脱炭素社会の実現に貢献する二つの製品、リチウムイオン電池用バッテリーパウチ、太陽電池関連製品の当社の取り組み状況について、説明させていただきました。

若林：ありがとうございました。続きまして、新規事業分野のメディカル・ヘルス関連について、専務執行役員の杉本よりご説明いたします。杉本専務、よろしくお願いいたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

DNPの医療ヘルスケア事業について



DNPの医療領域への取組みCM
「DNPが、薬のカプセルの中身を作っている?!」

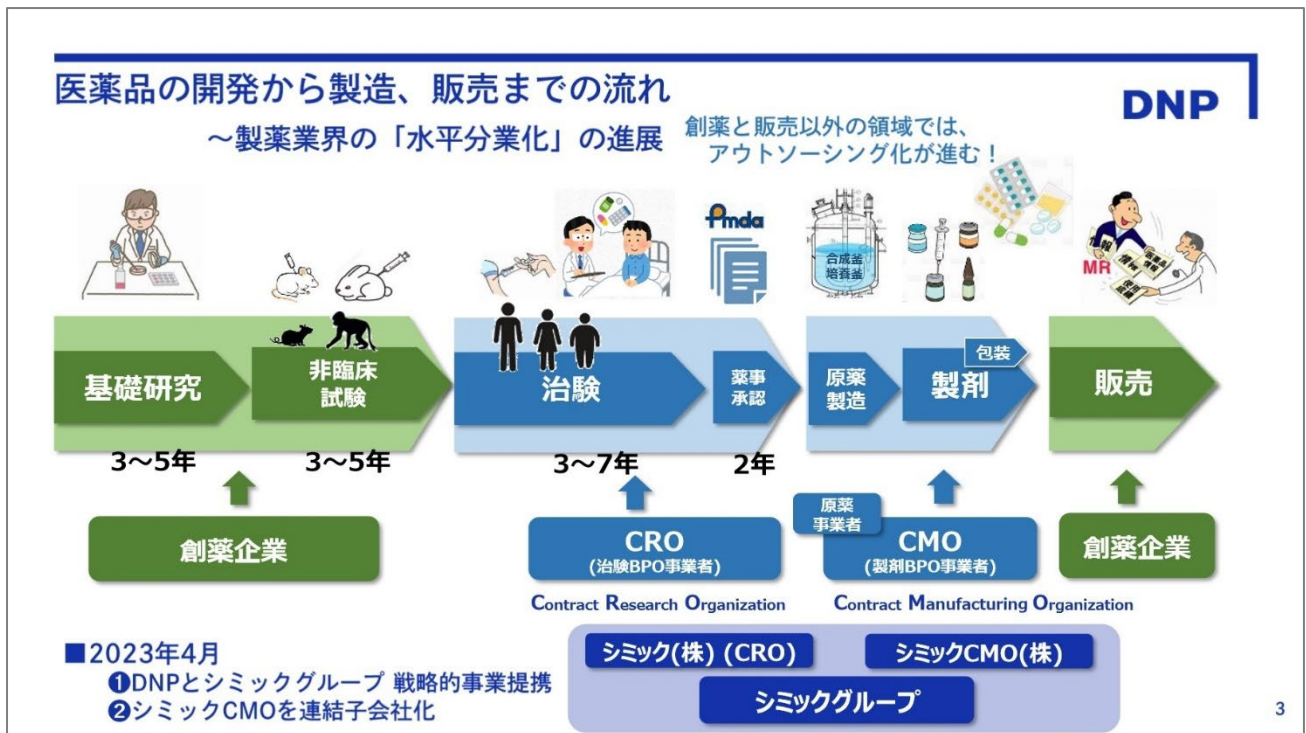
2

杉本：DNP の医療ヘルスケア事業を担当している、杉本です。本日は私から、DNP の医療ヘルスケア事業の全体像をご説明します。

2 ページに、最近の DNP のテレビ CM の画像が映っておりますが、印刷会社である我々が薬そのものの製造も含めて、製薬に関わる領域を我々の医療ヘルスケア事業の中心に置いて、事業展開を考えているところをご説明したいと思います。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



このページには、医薬品の開発から製造、販売に至るまでの流れを示しています。

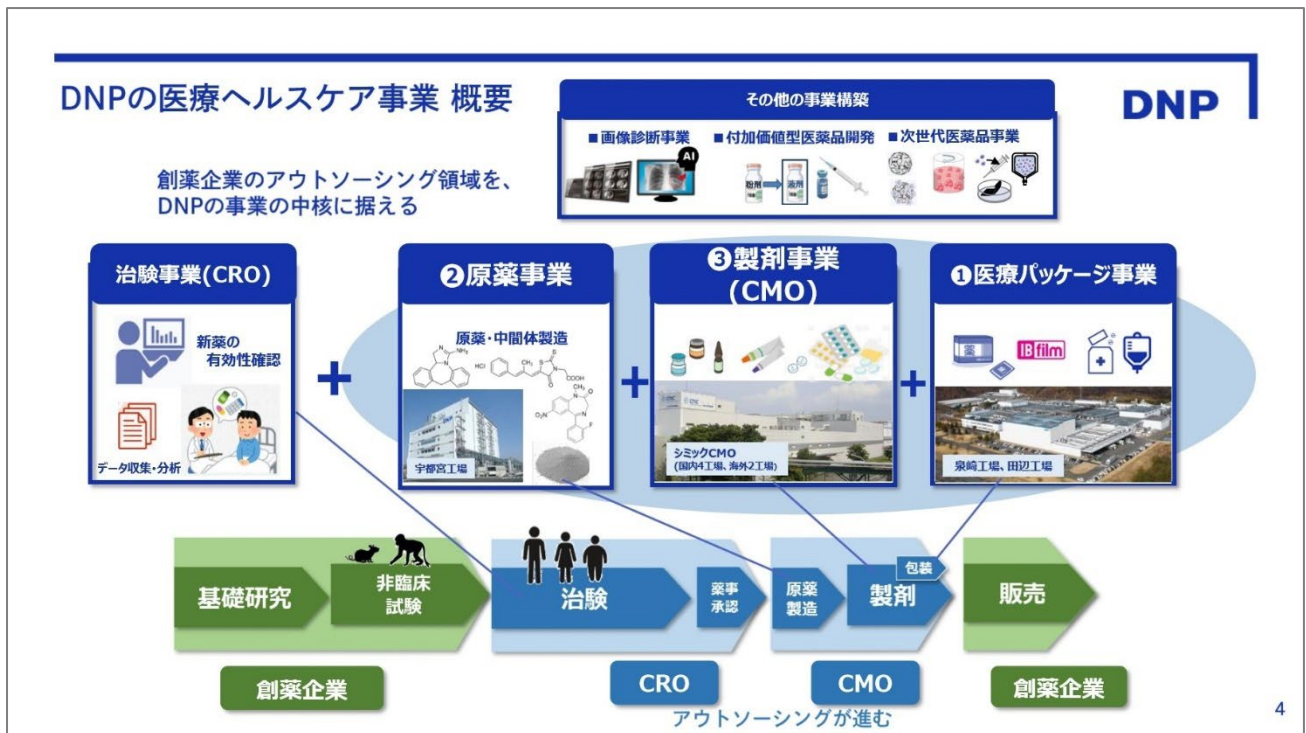
医薬業界は、この20年ぐらいの間に水平分業化が進んでいて、図の緑色で示した部分、つまりは医薬品の開発そのものにあたる領域と、後ろのほうの薬の販売に関わる領域ですが、この領域については皆様がよくご存知の製薬企業様が、開発を行っている創薬企業様といったほうがいいかもしれませんが、自社で遂行されます。

真ん中の青い青色で示した薬の有効性を確認して国の認可を得る部分、いわゆる「治験」と「薬事承認」の領域については、CROと呼ばれる専門の受託業者へアウトソーシングされ、また薬の製造を担う部分、いわゆる「製剤」領域は、CMOと呼ばれる専門の受託業者へアウトソーシングされるケースが非常に多くなっています。

シミックグループは、CROとCMOの両方の機能を持つ、日本の代表的な製薬アウトソーシング事業者であり、昨年4月にDNPとシミックグループは、戦略的に事業提携することに合意するとともに、シミックCMOをDNPの連結子会社化しました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



このページに、DNP の医療ヘルスケア事業の全体像を簡単に示しています。

創薬企業様がアウトソーシングされているモノづくりの領域、つまりはDNP が得意とする「医療パッケージ事業」と、十数年前にスタートした「原薬事業」、さらには昨年シミック CMO を連結子会社化することで獲得した「製剤事業」、この三つをDNP の医療ヘルスケア事業の中核に据えています。

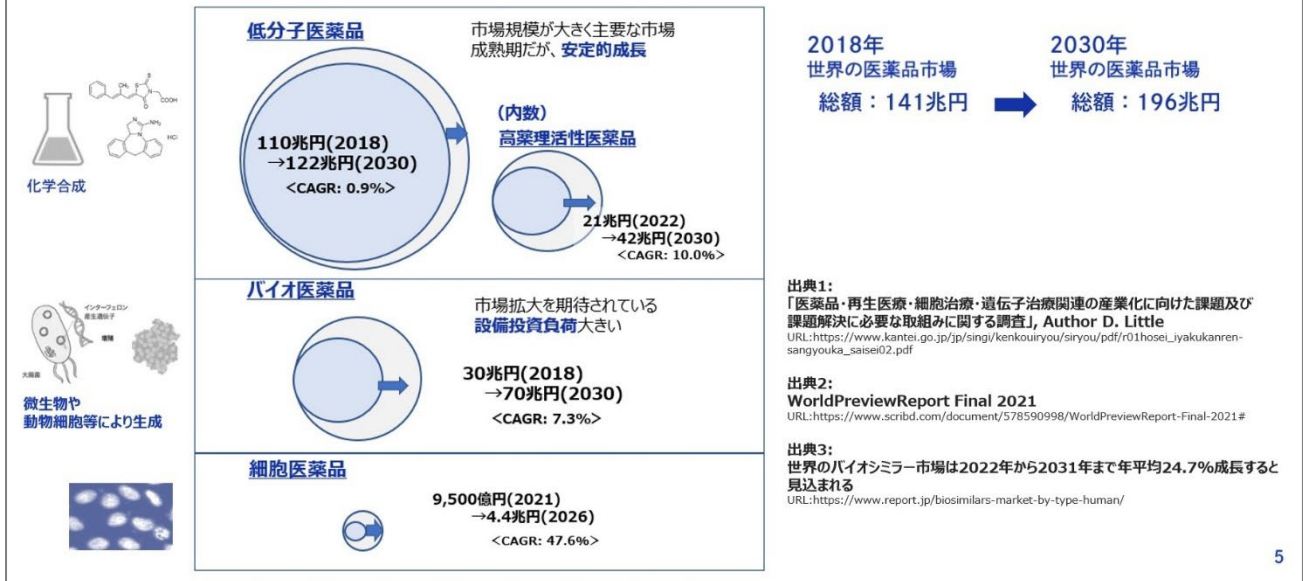
CRO と呼ばれる治験のアウトソーシング事業については、今後シミックグループと協業して、DNP としての事業化を目指していくとともに、従来から手がけている医療画像診断系の事業や、パッケージ技術と製剤技術の掛け合わせで、既存の医薬品の付加価値を飛躍的に向上させる事業や、再生医療等にかかわる事業構築を目指していきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

メディカルヘルスケア分野は、今後の市場発展・拡大が望める事業分野
 ～特に医薬品市場は、世界規模で安定的な成長が期待されている

DNP



このページでは、世界の医薬品市場の拡大トレンドについてご説明します。

2018年には世界の医薬品市場規模は141兆円でしたが、2030年には196兆円にまで拡大すると予測されています。

化学合成によって製造される、いわゆる「低分子医薬品」が市場の中ではウェイトが高く、特に高薬理活性医薬品、いわゆる抗がん剤は、低分子医薬品の中でも今後、高い伸びを示すと言われていいます。この低分子医薬品の領域が、DNPの医薬品製造の中心になると考えていますが、2030年に向けては大きな拡大が期待されている「バイオ医薬品」や、我々も十数年来かかわってきている「細胞医薬品」の分野でも、事業構築を目指していきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com





DNP は、単純な 2 次元の印刷技術を発展させて、各層、各レイヤーが特徴的な機能を持った多層構造、これは私の勝手な造語で“2.5 次元高機能多層構造”と名付けていますが、これを実現することで、「光学フィルム事業」や保存性の大幅向上を目指した「食品パッケージ事業」、さらには「バッテリーパウチ事業」など、多くの事業を手がけてきました。

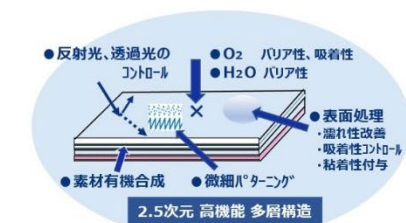
この技術を医療分野に応用したのが「医療パッケージ事業」で、医薬品のみならず、一部の医療機器のパッケージも手掛けています。また、シミック CMO の製剤技術とこのパッケージ技術を掛け合わせることで、抗がん剤などの付加価値向上も目指しています。

一方、DNP では 20 年ほど前から、再生医療や細胞医薬品などの研究を行っている研究機関や病院に技術者を派遣して、次世代の医薬品開発について学んできましたが、この領域でも新しい事業の構築を目指していきます。

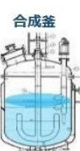
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

②原薬事業



重要な材料の
自社開発 & 製造



医薬品原薬の
有機化学合成



DNP



■ジェネリック医薬品原薬のプロセス開発 & 製造
(特許切れのタイミングでの上市狙い)

■今後の方針

- ①高薬理活性医薬品(抗がん剤)の原薬の開発
- ②原薬～製剤一貫製造プロセスの構築(シミックCMO連携)

7

DNPの中核となる製造技術の一つが、先に述べました「高機能多層構造」を実現するための「加工技術」です。2013年に栃木県に「化学合成のプロセス」を備えた新工場を建設し、加工のもとになる原材料の開発、製造に着手しました。

また、多層構造に用いる原材料の開発、製造のみならず、医薬品原薬の開発にも着手しました。数年後に特許が切れそうな医薬品の原薬について、独自に開発した製造プロセスで化学合成し、ジェネリックの医薬品事業者様に提供するかたちで、原薬事業をスタートしました。

現在、七つ程度の製品ラインナップがありますが、今後は抗がん剤などの開発、製造も視野に入れて品種の拡大に努めるとともに、製造工程を担っているシミックCMOと連携して、原薬から製剤までの一貫生産プロセスの構築なども目指していきます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

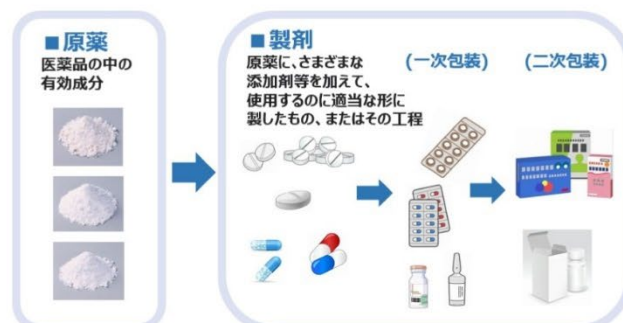
③製剤事業

■2023年4月 シミックCMO(株) を子会社化

- ◎ CRO事業を営むシミック(株)と並んで創薬企業のBPO事業者※ 国内最大手のシミックホールディングス(株)の中核事業の一つ

■シミックCMO(株)

- ◎ CMO事業者としては国内第3位
- ◎ 製造拠点6ヶ所
 - ・ 国内；富山工場、静岡工場、足利工場、西根工場～50以上の製薬企業より300品目以上を受託
 - ・ 海外；韓国工場、米国工場
- ◎ DNPとのシナジー
 - ・ 製剤の前工程である原薬プロセスをDNPが保有～(株)DNPファインケミカル宇都宮
 - ・ 製剤に不可欠な包装資材の開発製造は、DNPの注力事業分野
 - ・ 製剤の検査工程等にDNPの生産技術が応用可能



※多くの製薬企業の業務プロセスを代行する「BPO；ビジネスプロセスアウトソーシング」という事業はDNPにとっても、珍しい事業形態ではない。

→次頁の「ICカード事業」に示されるようにBPO事業は、DNPの特徴的な事業形態のひとつ。

8

さて、昨年4月にDNPの連結子会社化したシミックCMOは、CMO事業者としては国内第3位で、国内外に6つの工場を持ち、国内4工場では50社を超える製薬会社様から、300品種以上の医薬品の製造を受託しています。

先ほどご説明したように、製剤の前工程となる原薬製造プロセスは我々が保有していますし、製剤に不可欠な包装資材、いわゆるパッケージの開発製造はDNPの注力分野であることから、原薬から製剤、パッケージに至るまでの一連の工程を備え持つことが、我々の強みになると考えています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

DNPのICカード事業と製薬のBPO事業(CRO、CMO)の相似性

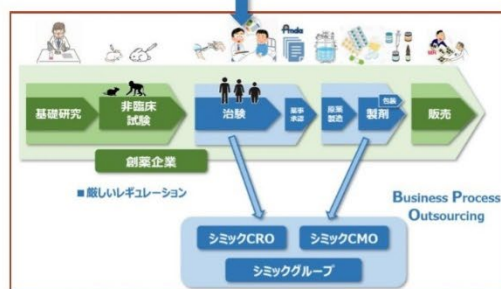
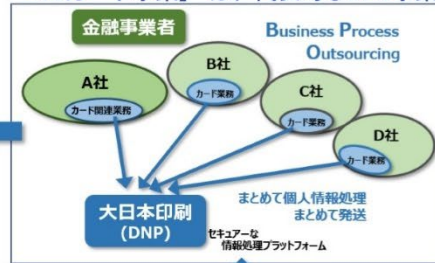
DNP

■「カード」が皆さんのお手元に届くまで



業界は、異なってもビジネスモデルは、相似形 →

「ICカード事業」は、代表的なBPO事業



9

多くの製薬企業様の業務プロセスを代行する「BPO；ビジネスプロセスアウトソーシング」という事業形態は、実はDNPにとって珍しい形態ではなく、図に示した「ICカード事業」が、DNPの代表的なBPO事業の一つです。

クレジットカードやキャッシュカードなどのICカードをDNPでは数多く製造していますが、皆様がカードの申込みをされた後は、実は金融機関様で審査工程を経た後に、個人情報が入ったICカードがDNPの工場に転送されます。

そこで、厳重なセキュリティ管理体制のもとで、暗号化処理を施した個人データがICカードに書き込まれ、各個人に応じた情報処理がなされた添付文書と一緒に、皆様のもとにDNPの工場から発送されるのです。

このように、金融機関様のカード関連業務をDNPのプラットフォーム上でまとめて処理する業務形態は、DNPの代表的なBPO事業といえます。

製薬企業様の治験や製剤のプロセスをまとめて受託している、シミックグループのようなCRO、CMOといった事業形態は、DNPのICカード事業と市場は異なっても、きわめて似通ったビジネスモデルと考えられ、DNPがシミックグループと戦略的事業提携を行った理由もそこにあります。

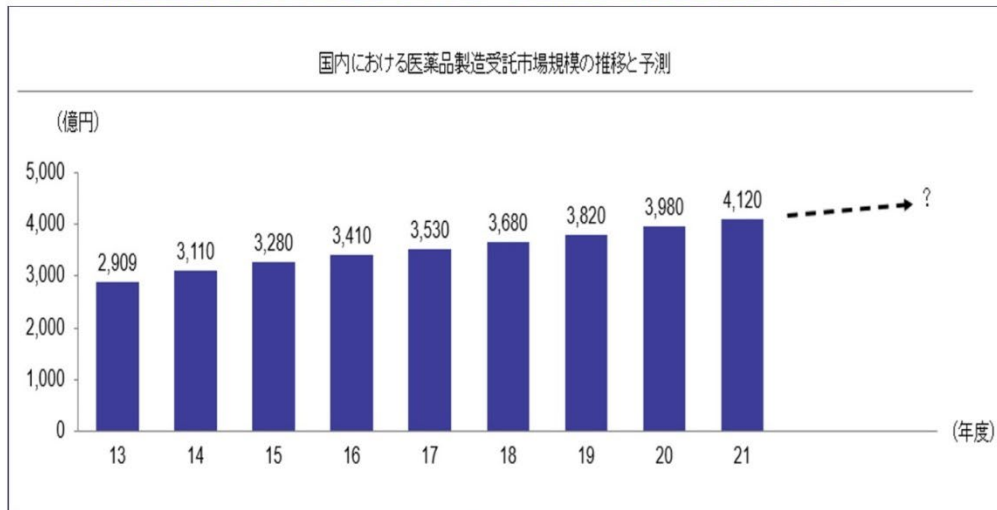
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

国内CMO市場規模の推移

DNP

国内CMO市場は、これまで年率3~5%程度の成長を続けている



出所：矢野経済研究所「2023年版 医薬品製造受託市場の展望と戦略」

10

このグラフは2013年から2021年にかけて、国内のCMO市場が年率3%から5%の割合で成長してきたことを示しています。新薬開発に携わる、いわゆる「創薬企業様」からの治験業務や製剤工程のアウトソーシングは、今後もさらに加速すると思われる。

③製剤事業 ～シミックCMOの製剤工場群

DNP



11

このページでは、シミック CMO の国内 4 工場と海外 2 工場の全体写真を示しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
 Asia's Meetings, Globally

国内4工場については、いずれも大手の製薬会社様から譲り受けたもので、今となっては製薬会社様の製剤工程を受託するBPO事業者となって、これからも数多くの製薬会社様から医薬品製造を受託していきます。

4 その他の事業

治験事業(CRO)

新薬の有効性確認
データ収集・分析

■CRO事業(治験サポート事業)への参画

- ◎シミックグループとの協業の一環
- ◎労働集約型のCRO業務のDX化、グローバル化を推進

■画像診断事業

- ◎病院や健診機関の読影業務のアウトソーシング事業をスタート
- ◎AI診断ツールを併用して、AI画像診断の有効性を検証中
- ◎将来的には、治験業務の中での有効利用を目標

■付加価値型医薬品開発

- ◎シミックの製剤技術×DNPのパッケージ技術→医薬品の保存性の大幅向上や剤形変更を狙う
- ◎粉体の抗がん剤の液剤流通化が大きなターゲット

■次世代医薬品事業

- ◎iPS細胞の高効率培養
→オルガノイドの開発、創薬の試験プロセスへの応用...
- ◎高効率細胞培養部材、検査装置等の開発

品質劣化要因	解決手段
酸素	添加剤、脱酸素パッケージ
熱	断熱パッケージ
光	遮光パッケージ
加水分解	非水溶媒化、脱水パッケージ
衝撃	衝撃吸収パッケージ

12

ここでは、医療ヘルスケア分野のその他の事業についてご説明します。

シミックグループの中核的な事業が、製薬企業の治験業務を受託するCRO事業であり、この領域においてもDNPがシミックグループと協業して、労働集約的な業務のIT化やDX推進を手掛けるとともに、グローバル対応も目指していきます。

画像診断事業としては、病院や健診機関の医療画像の診断、専門的には読影と言いますが、これを我々にアウトソーシングしていただく事業をスタートしており、AI技術の実用化にもトライしています。また治験領域においても、これらの画像診断技術が将来使えると考えています。

付加価値型の医薬品開発につきましては、シミックの製剤技術と、我々のパッケージ技術を掛け合わせて、医薬品の保存性の大幅向上にトライしています。

長年かかわってきた再生医療や細胞医薬品の分野では、創薬プロセスの各種試験に使えるような細胞を培養するための技術開発、もしくは細胞培養に不可欠な材料や、部材の開発を目指していきます。

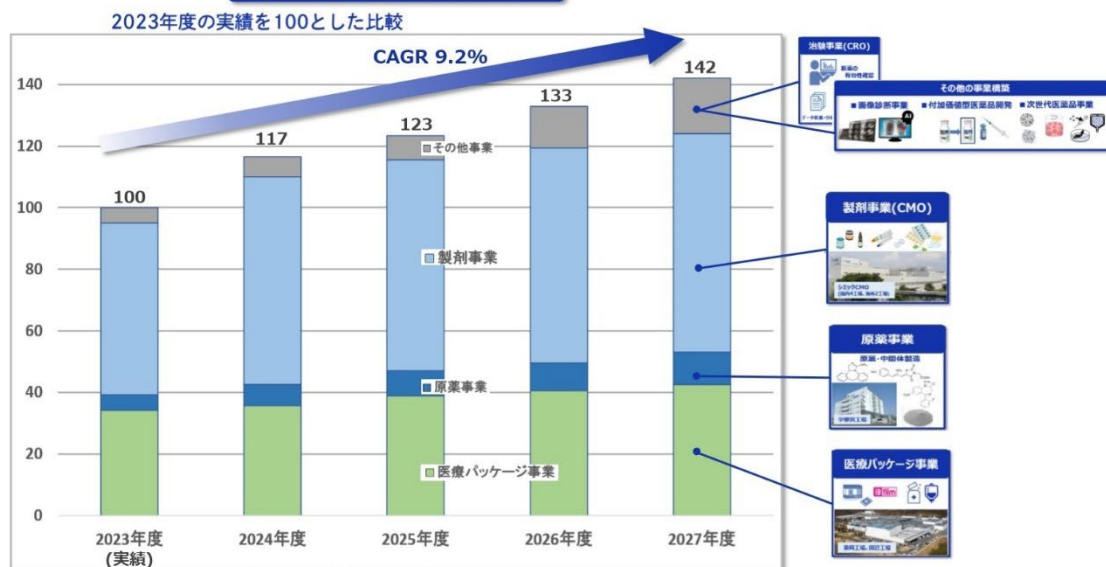
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

DNPの事業計画

医療ヘルスケア事業の売上計画

DNP



13

このグラフでは、DNPの医療ヘルスケア事業の売上計画を示しています。

医療パッケージ事業、原薬事業、製剤事業などを安定的に成長させて、2027年には2023年度の実績の1.4倍強の売上を目指しております。年平均成長率としては、9.2%を見込んでいます。

最後になりますが、これからもDNPは製薬企業をはじめとする顧客企業の皆様に、今まで以上に貢献していきたいと思うとともに、人々の健康で安心・安全な生活を継続的にサポートしていきたいと思っております。

若林: 続きまして、同じく新規事業分野の「コンテンツ・XRコミュニケーション関連」につきまして、常務執行役員の浅羽よりご説明いたします。浅羽常務、よろしくお願いいたします。

浅羽: それでは、スマートコミュニケーション領域における新規事業テーマ「コンテンツ・XRコミュニケーション」をご紹介します。浅羽と申します。よろしくお願いいたします。

はじめに、我々がなぜこの事業に取り組むのか、この事業における強み、想いを映像にまとめたのでご覧ください。

DNPは、明治9年に秀英舎として創業し、2026年に150周年を迎えます。当時の舎則には「文明に資する業を営む」を掲げていました。創業時の活版印刷を通じて、人々の知識や文化の発展に貢献したいという想いは、現在もなお受け継がれています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

我々は、これまでに培った印刷技術と情報技術を活かし、日々進化するハードウェアやソフトウェアなどの環境に応じた、情報の「変換、加工、管理」を強みとしています。

昨今ではショールームや店舗、美術館や企画展など、空間全体を捉えたさまざまな表現をプロデュースし、新たな体験価値を社会に提供し、人と社会をつなげています。そして、リアルとバーチャルがシームレスにつながるこれからの社会において、新たなコミュニケーションとしてXR コミュニケーションを提供したいと考えています。

今と将来の文化を育むことを目指し、快適で楽しい暮らしの実現を目指しています。我々は「未来のあたりまえ」の実現に向け、「コンテンツ・XR コミュニケーション」を始めてまいります。

社員の“熱い想い”から始まった“新規事業”

DNP

2016年、社員の自発的な「オタクプロジェクト」からの提言を元に、日本動画協会と「東京アニメセンター」の共同運営を開始しました。この取り組みをきっかけに、コンテンツを核にした様々な生活者向けサービスを、自主事業として推進しています。

2016

オタク文化をテーマに
新事業創出プロジェクト発足



DNPクリエイター共創サービス
FUN'S PROJECT

2017.10

生活者向けサービス
「東京アニメセンター」
市谷にてスタート



Tokyo Anime Center
東京アニメセンター

2021.4

生活者向けサービス
渋谷にリニューアルオープン



XRコミュニケーション
バーチャル宮下公園



2024.4

生活者向けサービス
サンフランシスコ進出



XRコミュニケーション
バーチャル秋葉原



2

ただ今ご紹介した「コンテンツ・XR コミュニケーション」という新規事業は、社員の熱い想いから生まれました。DNP は創業以来、さまざまなお客様からコンテンツをお預かりし、最適なかたちで社会に提供してきました。そうした中で、日本のコンテンツの魅力を世界に向けて、自らの手で届けていきたいという想いが社員から湧き上がりました。

そして、その想いを契機に具体的なプロジェクトとして、2017年に日本動画協会様と「東京アニメセンター」の共同運営を開始しました。新宿区市谷のDNPプラザで始めた「東京アニメセンター in DNP プラザ」は、2021年4月に新たな文化を発信する町・渋谷に移転しました。そして2024年4月、海外ファンに日本コンテンツの魅力を届けていくため、北米サンフランシスコに進出しました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



また、これらのリアル空間でのコミュニケーションに加え、2021年よりバーチャル空間にもコミュニケーションの場を拡張し、渋谷区立宮下公園や、秋葉原地区などのメタバース展開を始めております。

ビジョン・ミッション・バリューDNP

ビジョン

**コンテンツを最適なかたちで伝え 新たな価値を生み出し、
快適な暮らしを支え、心豊かな文化を育む。**

ミッション

情報加工・変換技術を核に、
リアルとバーチャルを融合させたコミュニケーションモデルを創出し、
人と社会をつなぎ「新たな体験価値」を世界に届ける。

バリュー

- 世界中の多様なコンテンツホルダーやクリエイターとのネットワーク
- 高精細画像処理技術や著作権処理の実績と信頼
- 認証技術と大量データ処理技術を活用したビジネスプロセスを統合・最適化する能力

これらの強みを応用し、リアルとバーチャルを安心・安全にシームレスにつなぎ
新たな経済圏を創出する。

3

「コンテンツ・XRコミュニケーション」事業を推進するにあたり、ビジョン、ミッション、バリューを策定しました。

ビジョンは「コンテンツを最適なかたちで伝え 新たな価値を生み出し、快適な暮らしを支え、心豊かな文化を育む。」としました。

ミッションは「情報加工・変換技術を核に、リアルとバーチャルを融合させたコミュニケーションモデルを創出し、人と社会をつなぎ『新たな体験価値』を世界に届ける。」と決めました。

このようなビジョン、ミッションを実現させるためのバリューは三つ。

○世界のマンガ、アニメ、ゲーム、アートなどのコンテンツホルダーやクリエイターとのネットワーク

○高精細画像処理技術や著作権処理の実績と信頼

○そして、認証技術と大量データ処理技術を活用したビジネスプロセスの統合・最適化する能力となります。

我々はこれらの強みを応用し、リアルとバーチャルを安心・安全にシームレスにつなぎ、新たな経済圏を創出してまいります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

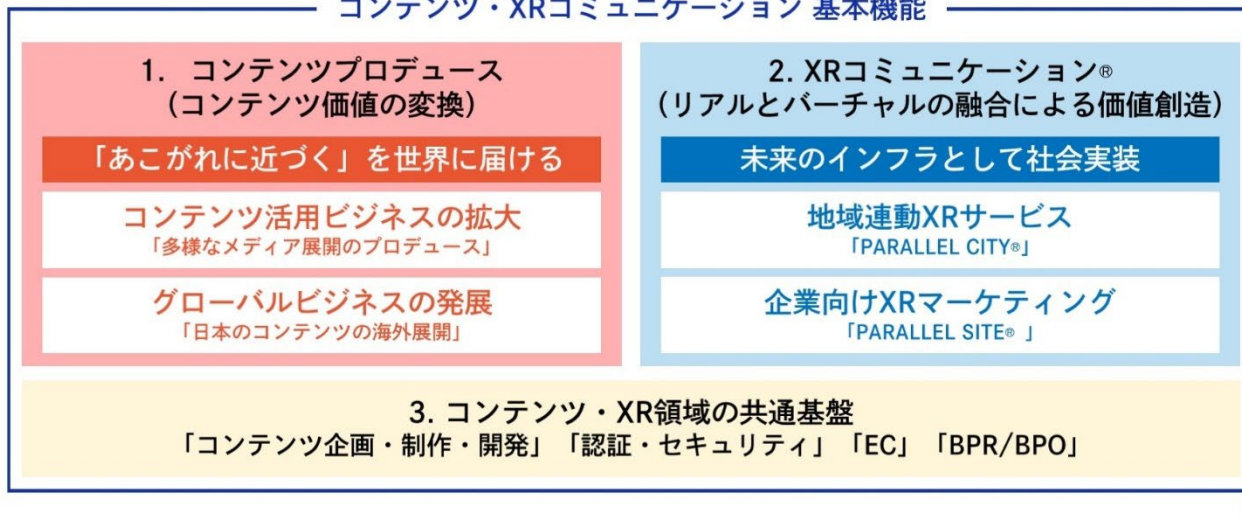
コンテンツ・XRコミュニケーション 基本機能

DNP

ビジョンを実現するため、以下の3つの基本機能を備え、事業を推進します。

※XR：eXtended Reality

コンテンツ・XRコミュニケーション 基本機能



4

ビジョン、ミッションを実現するため、三つの基本機能を持ち、事業を推進します。

一つ目の機能は、コンテンツプロデュースの推進です。我々は、日本のコンテンツが持つ価値をさらに高めるべく最適に変換し、国内外に提供します。世界中のファンに向け、「『あこがれに近づく』を世界に届ける」ことを目指します。多様なメディア展開により、コンテンツ活用ビジネスを拡大し、同時にグローバルへ発展させてまいります。

二つ目の機能は、リアル空間とバーチャル空間、それぞれのコミュニケーションを融合させ、社会に新たな価値を提供するXRコミュニケーションです。地域社会には、その地域の活性化や課題解決に向けたXRサービスを提供し、企業にはマーケティング支援などを行うXRサービスを提供します。地域や企業の未来のインフラとして、XRコミュニケーションの社会実装を目指します。

これらを統合的に支える共通基盤が、三つ目の機能です。共通基盤にはDNPが従来ビジネスで培った、コンテンツの企画、制作、開発、運用を担う技術や組織。オールDNPで開発保有する認証セキュリティ技術基盤やノウハウ、ECサービスやさまざまな業務支援を担うビジネスプロセスリエンジニアリングと、ビジネスプロセスアウトソーシングなどを備えています。

サポート

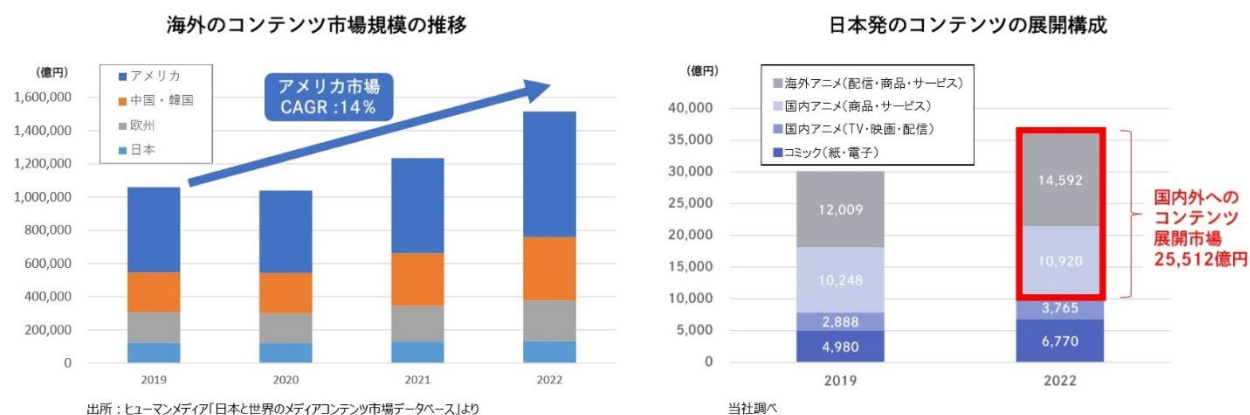
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

 **SCRIPTS**
Asia's Meetings, Globally

1-1. コンテンツ市場の伸びと展開構成

DNP

海外のコンテンツ市場規模は、直近10年間で約2倍に拡大しており、アニメや家庭用ゲームの拡大が顕著です。北米が最大市場であり、2019年からの年平均成長率は14%で伸長しています。日本で生み出されたIPを元にしたコンテンツ2次展開（商品・サービスなど）は、国内外の市場で大きな構成比をしめ、拡大しています。



5

それでは、各機能について事業戦略と取り組みをご紹介します。

コンテンツ業界の市場概況について、簡単に触れます。海外のコンテンツ市場規模は直近10年で約2倍に拡大しており、アニメや家庭用ゲームの拡大が顕著です。特に北米が最大市場であり、2019年から年平均成長率は14%で伸長しています。

このような市場牽引には、動画配信サービスの発展はもとより、商品化や展示会などの2次展開の需要拡大も影響しています。社会環境と生活者ニーズの変化により、多様なメディアでコンテンツを楽しむスタイルが世界中で求められており、我々はこの市場に着目し、事業展開を進めます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
 Asia's Meetings, Globally

1-2. コンテンツプロデュース

DNP

環境変化や生活者ニーズに応じた多様なメディア展開に、DNPが強みとする情報加工・変換技術や、ソフト・ハードウェア開発力を応用し、ビジネス領域を拡大します。また、需要が大きな国・地域に重点を置いて、日本の成功モデルをグローバルに発展させます。

1.コンテンツプロデュース（コンテンツ価値の変換）

「あこがれに近づく」を世界に届ける

コンテンツ活用ビジネスの拡大 「多様なメディア展開のプロデュース」

企画展・イベント・商品を核にした
自主興行ビジネスの拡大



DNP技術を応用した
ゲーム機器の開発・提供

日本の成功モデルを
海外展開

マンガ・アニメ企画展

オリジナル商品の販売

アミューズメントゲーム機器提供

グローバルビジネスの発展 「日本のコンテンツの海外展開」

海外での日本発の
イベント・商品・サービスの展開

北米展開から開始



北米での出展イベント（23年度実績）

Anime Expo
@Los Angeles

New York
Comic con

Anime Matsuri
@Houston

6

コンテンツプロデュースの事業戦略と、その取り組みをご紹介します。

先の市場環境のとおり、現在のコンテンツビジネスでは、多様なメディア展開が必要不可欠です。我々は強みとする情報加工変換技術や、ソフト、ハード、開発力を応用し、ビジネス領域を拡大します。

すでに企画展、イベント、商品を核にした自主興行ビジネスや、DNPの技術を応用したゲーム機器の開発などを開始しています。また、これらの日本の成功モデルを需要の大きな国、地域を重点とし、発展させていきます。

2024年4月にはサンフランシスコに「東京アニメセンター」を展開しました。また「アニメエキスポ」など、日本コンテンツのファンが集う大規模な海外の展示会にも、DNPならではの体験価値を提供しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

2-1. XRコミュニケーション市場成長について

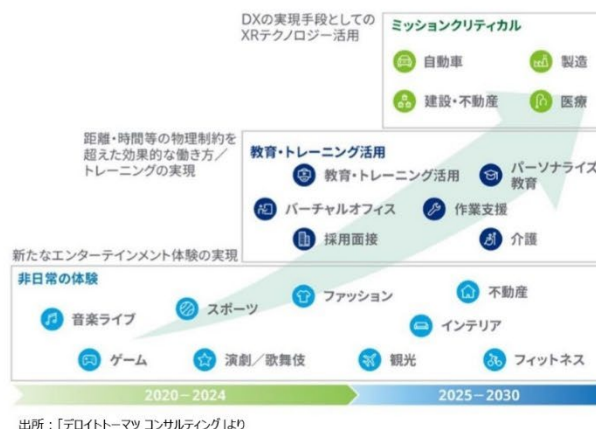
DNP

XR・メタバースの国内市場は、2027年まで、年平均成長率71%の成長が見込まれ、2兆円規模に達すると予想されています。活用される領域は、エンターテインメント等の「非日常の体験」から「教育・トレーニング活用」や「ミッションクリティカル」へ、広がることが予想されています。

XR・メタバースの国内市場



XR・メタバースの活用領域の展開シナリオ



7

XR コミュニケーション市場は、まだ黎明期といえます。しかし、国内市場は 2027 年までに年率 71%の成長が見込まれ、2 兆円規模に達すると予想されています。特にこれまでの XR 活用は、エンターテインメント用途が主流でした。今後は、人手不足の解決が急務な教育分野や、研修などの領域において、物理的な制約を超えた効果的な働き方の実現に向け、活用が期待されています。

その後、さまざまな業種業態の DX として XR やメタバースの活用が広く浸透していくと考えられます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2-2. XRコミュニケーションの推進

DNP

DNPが持つ認証セキュリティ、BPO、各DXソリューションを組み合わせ、トータルでサービス提供することで地域課題の解決と企業マーケティングの新たな体験価値を創出し、社会実装を目指していきます。

2. XRコミュニケーション（リアルとバーチャルの融合による価値創造）

未来のインフラとして社会実装し新たな経済圏を創出

地域連動XRサービス 「PARALLEL CITY®」

来庁不要な「メタバース役所」



自治体が抱える多様な課題
解決に向け実証事業を開始
(江戸川区)

教育向けメタバース



不登校や日本語指導が必要な
子供向けの居場所づくりの
取り組みを展開 (東京都)

企業向けXRマーケティング 「PARALLEL SITE®」

マーケティングイベント



イベントやセミナーなど
生活者と多彩なコミュニ
ケーション施策

企業イベント



様々な拠点に点在する社員
が一堂に会し対話できる
大規模イベント

8

XR コミュニケーションは、人と社会をつなぐ、快適で安心・安全なコミュニケーションにより、地域課題の解決と企業マーケティングの新たな体験価値を提供します。

地域連動 XR サービスでは、物理的、時間的、心理的などさまざまな障壁によって既存の制度、サービスの恩恵を受けにくい人たちに寄り添い、誰1人取り残さないデジタル社会の実現を目指します。

自治体 DX として推進する「メタバース役所」は、住民サービスの向上に加え、BPR（ビジネス プロセス リエンジニアリング）、BPO（ビジネス プロセス アウトソーシング）を掛け合わせ、職員の負荷軽減を目指し、自治体との実証事業を始めています。また、不登校児や日本語指導が必要な児童向けの居場所として、メタバース空間を東京都の30の自治体へ提供し、他の自治体への拡大も進めています。

これらの活動を通じて、誰でもいつでも、どこからでも行政サービスを利用できるコミュニティプラットフォームを目指しています。

企業向けマーケティングの領域では、企業の周年イベントやステークホルダーとのコミュニケーション施策として、活用が広がっております。また、国内外で多拠点展開をしている企業のインナーブランディングや、社員のエンゲージメント向上施策として採用が始まっています。もちろんDNP社内でも、全国拠点から参加する社員向けイベントを実施しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

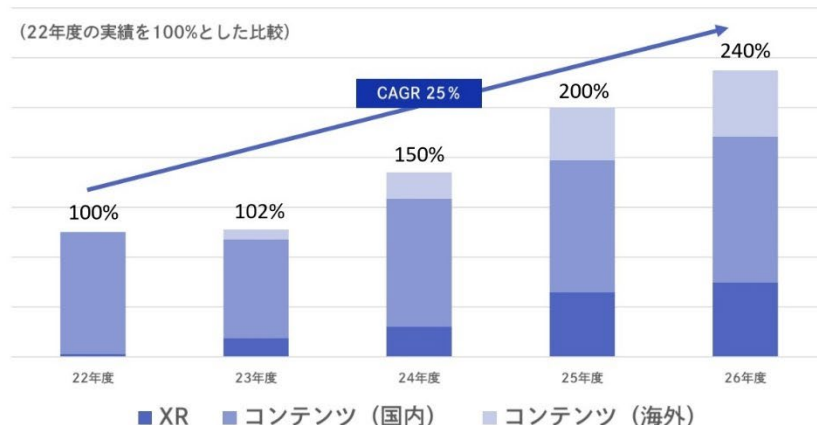
DNPの事業目標

DNP

コンテンツ・XRコミュニケーション領域の事業において、26年度には22年度比240%の売上拡大を図る。事業拡大に向けコンテンツへの投資や共創企業への出資・協業を積極的に進めていきます。

売上高：業績推移と中期計画

(22年度の実績を100%とした比較)



9

最後に、事業目標についてご説明します。

本事業において、2026年度には2022年度比240%の売上拡大を図ってまいります。この事業拡大に向け、コンテンツへの投資や、共創企業への出資・協業を積極的に進めていきます。

主な出資として今年5月、monoAI technology 株式会社へ、XRコミュニケーションの基盤強化として出資いたしました。今後も提携パートナーとともに、事業推進体制を強固にしてまいります。

我々は、リアルとバーチャルをシームレスにつなぎ、コンテンツを最適に変換することで、新たな体験価値と経済圏の創出を目指してまいります。コンテンツ・XRコミュニケーションは快適な暮らしを支え、心豊かな文化を育むことにお約束します。それでは、XR空間でお待ちしています。

若林：それでは、これより休憩に入ります。14時40分より質疑応答を開始いたします。再開まで、今しばらくお待ちください。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

SCRIPTS
Asia's Meetings, Globally

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、SCRIPTS Asia 株式会社（以下、「当社」という）は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて利用者の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して利用者が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

